

宇佐市のこどもの読書状況に
関するアンケート調査結果

宇佐市民図書館

1. 調査の目的

宇佐市の子ども(概ね18歳まで、「こども」)の読書に関する現状を把握し、「第二次宇佐市子ども読書活動推進計画」策定と実行に役立てるために実態調査を行いました。

2. 調査方法

・調査対象

宇佐市の全幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校(支援学校を含む)に在籍する児童・生徒および児童に接する保育士・幼稚園教諭、教諭(以下「先生」)を対象に実施しました。

なお、幼稚園・保育園、小学校低学年に関しては、持ち帰って保護者に回答していただきました。

・対象人数 子ども…9,902人 先生…1,214人

・調査時期

平成23年9月

対象		人数	回答人数	回収率(%)
先生	全体	1,214	856	70.5
	幼稚園・保育園	406	298	73.4
	小学校	345	283	82
	中学校	163	107	65.6
	高校	240	109	45.4
	支援学校	60	59	98.3
子ども ※支援学校は各学年に加える	全体	9,902	7,687	77.6
	幼稚園・保育園	2,339	1,555	66.3
	小学生(全学年)	3,089	2,883	93.3
	うち(1、2年生)	982	785	79.9
	うち(3～6年生)	2,107	2,098	99.6
	中学生	1,671	1,580	94.6
	高校生	2,763	1,673	60.6
全体	総合計	11,118	8,543	76.8

目次

幼稚園生・保育園生の結果	1
アンケート問題	2
全体の結果	3
小学校1・2年生の結果	5
アンケート問題	6
全体の結果	7
小学校3・4年生の結果	9
アンケート問題	10
全体の結果	11
ご意見等	13
小学校5・6年生の結果	17
アンケート問題	18
全体の結果	19
ご意見等	21
中学生の結果	24
アンケート問題	25
全体の結果	26
ご意見等	28
高校生の結果	30
アンケート問題	31
全体の結果	32
ご意見等	34
こども全体の結果	36
先生の結果	40
アンケート問題	41
全体の結果	42
ご意見等	44
幼稚園・保育園の先生	44
小学校の先生	56
中学校の先生	71
高校の先生	76
支援学校の先生	80

幼稚園生・保育園生の結果

- * アンケート問題
- * 全体の結果

宇佐市のこどもの読書状況に関するアンケート

(幼稚園・保育園生用)

※このアンケートにはおうちの方がお答えください

園名 () 才

1. お子さんは読み聞かせや本を読むことは好きですか？

はい いいえ

2. 過去1ヶ月間にお子さんが読み聞かせや自分で読んだ本は何冊くらいですか？

() 冊くらい

3. 本を読まなかった人へ 理由はなんですか？ (いくつでも○を)

- ・読みたい本がない ・勉強や塾 ・習い事やスポーツ、部活
- ・テレビ、DVD など ・インターネット、ゲーム ・本がきれい
- ・本をいつも読まない ・他にやりたいことがある ・身近に本がない

4. 家で本を読むことはありますか？

- ・ほぼ毎日 ・週に3回以上 ・週に1回くらい
- ・月に2～3回 ・年に数回 ・ほとんど読まない

5. 図書館や移動図書館(ほんの森号、ほんの夢号)を利用しますか？

- ・月に1回以上使う ・年に数回使う ・使わない

6. ご家庭で読み聞かせをするのはどなたですか？

父親 母親 祖父 祖母 兄弟姉妹 その他の親族

7. こどもが本を読むことは大切だと思いますか？

はい いいえ

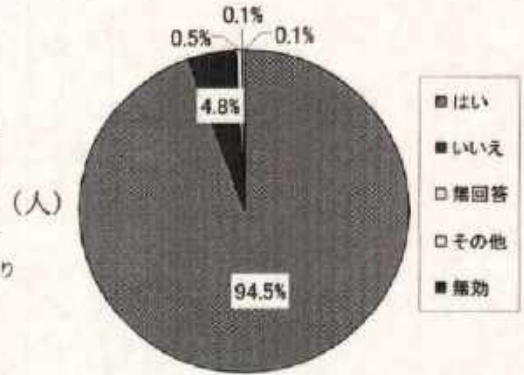
ご協力ありがとうございました

幼稚園生・保育園生結果

問1 お子さんは読み聞かせや本を読むことは好きですか？

回答園児数	はい	いいえ	無回答	その他	無効
1555	1470	74	7	2	2

その他：どちらでもない
無効：「はい」と「いいえ」の間に丸つけあり

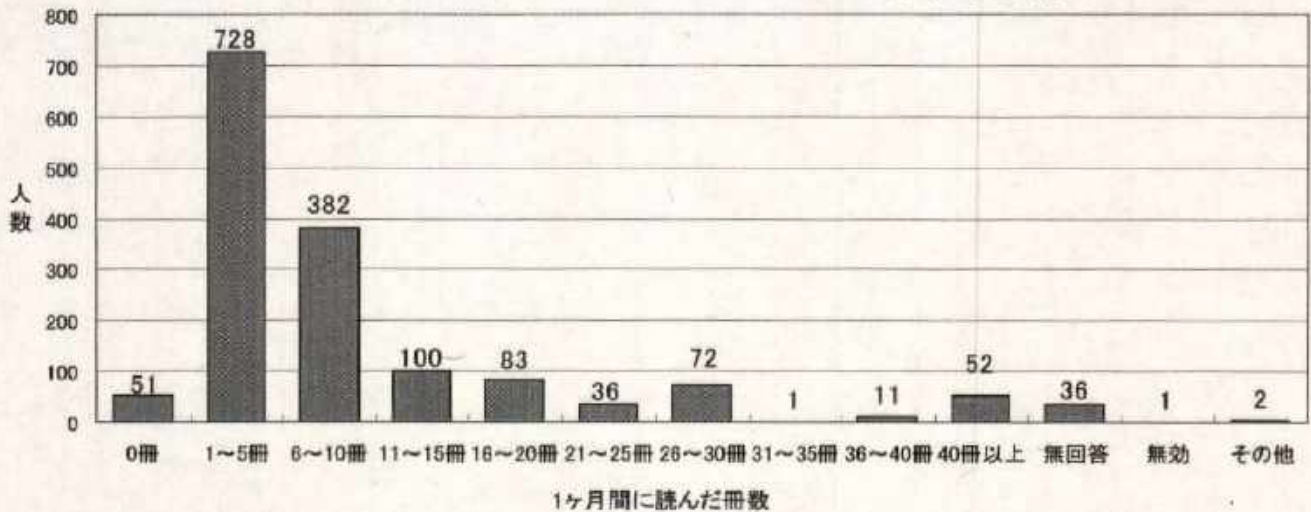


問2 過去1ヶ月間にお子さんが読み聞かせや自分で読んだ本の冊数

0冊	1~5冊	6~10冊	11~15冊	16~20冊	21~25冊	26~30冊	31~35冊	36~40冊	40冊以上	無回答	無効	その他
51	728	382	100	83	36	72	1	11	52	36	1	2

その他：いっぱい

1人平均10冊



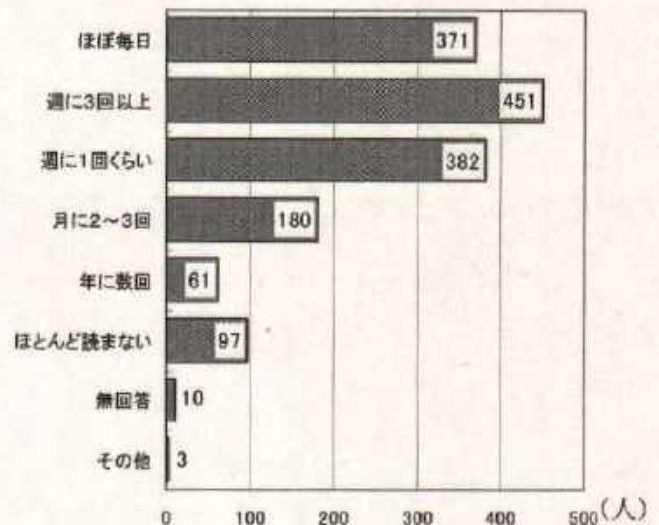
問3 本を読まなかった人へ

理由は何ですか？ ※複数回答可



その他：自分でよめない
：母子の時間が取れない
：忙しいなど

問4 家で本を読むことはありますか？

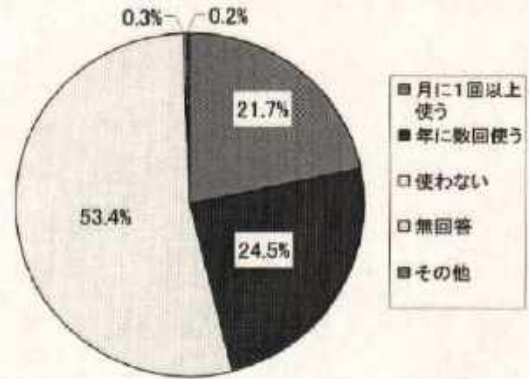


その他：読み聞かせならほぼ毎日
：読んだり読まなかったりなど

問5 図書館や移動図書館を利用しますか？

月に1回以上使う	年に数回使う	使わない	無回答	その他	(人)
337	381	830	4	3	

その他：知らなかった



(人)

問6 ご家族で読み聞かせをするのはどなたですか？

父親	母親	祖父	祖母	兄弟・姉妹	その他の親族	無回答	その他
616	1405	76	315	265	34	16	3

※複数回答可

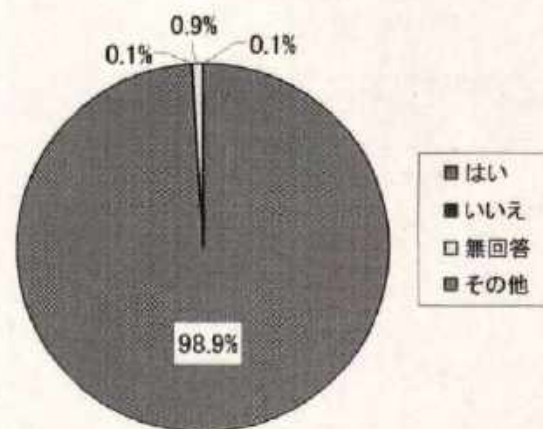
その他：自分で読むなど



問7 子供が本を読むことは大切だと思いますか？

はい	いいえ	無回答	その他	(人)
1538	2	14	1	

その他：どちらともいえない



小学校1・2年生の結果

- * アンケート問題
- * 全体の結果

宇佐市のこどもの読書状況に関するアンケート

(小学校低学年用)

※このアンケートにはおうちの方がお答えください

学校名 () 年

1. お子さんは読み聞かせや本を読むことは好きですか？

はい いいえ

2. 過去1ヶ月間にお子さんが読み聞かせや自分で読んだ本は何冊くらいですか？

() 冊くらい

3. 本を読まなかった人へ 理由はなんですか？ (いくつでも○を)

- ・読みたい本がない
- ・勉強や塾
- ・習い事やスポーツ、部活
- ・テレビ、DVD など
- ・インターネット、ゲーム
- ・本がきれい
- ・本をいつも読まない
- ・他にやりたいことがある
- ・身近に本がない

4. 家で本を読むことはありますか？

- ・ほぼ毎日
- ・週に3回以上
- ・週に1回くらい
- ・月に2～3回
- ・年に数回
- ・ほとんど読まない

5. 図書館や移動図書館(ほんの森号、ほんの夢号)を利用しますか？

- ・月に1回以上使う
- ・年に数回使う
- ・使わない

6. ご家庭で読み聞かせをするのはどなたですか？

父親 母親 祖父 祖母 兄弟姉妹 その他の親族

7. こどもが本を読むことは大切だと思いますか？

はい いいえ

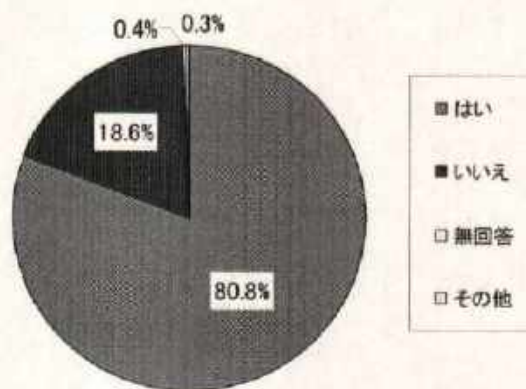
ご協力ありがとうございました

小学校1・2年生の結果

問1 お子さんは読み聞かせや本を読むことは好きですか？

回答人数	はい	いいえ	無回答	その他
785	634	146	3	2

その他：ふつう

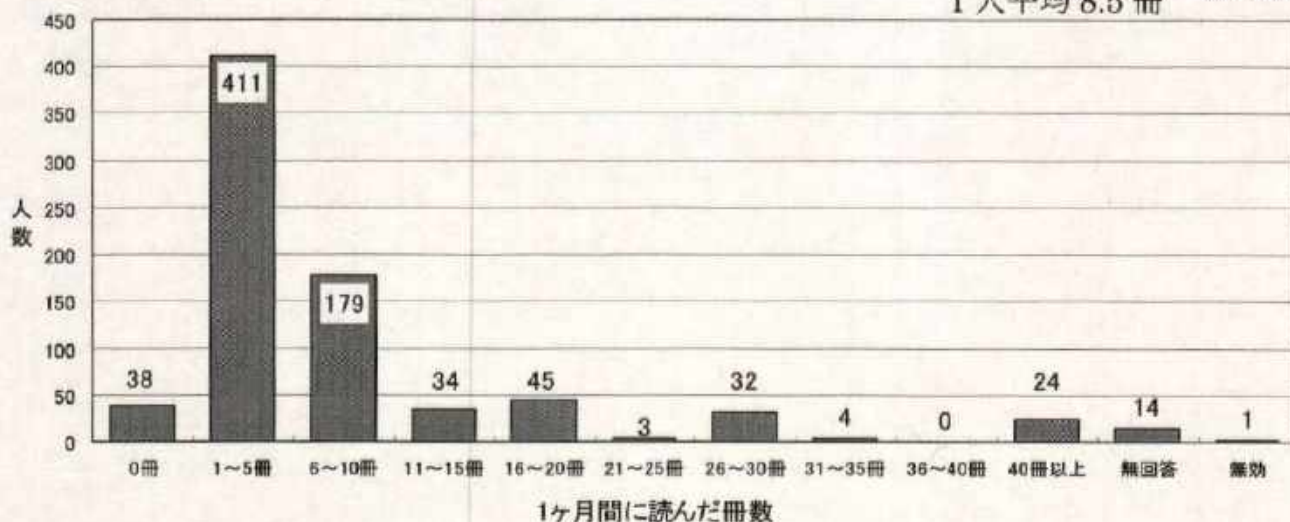


問2 過去1ヶ月間にお子さんが読み聞かせや自分で読んだ本の冊数

0冊	1~5冊	6~10冊	11~15冊	16~20冊	21~25冊	26~30冊	31~35冊	36~40冊	40冊以上	無回答	無効
38	411	179	34	45	3	32	4	0	24	14	1

1人平均 8.5冊

無効：極端な数字



問3 本を読まなかった人へ理由は何ですか？ ※複数回答可



その他：集中できない
：座って聞くことが難しい

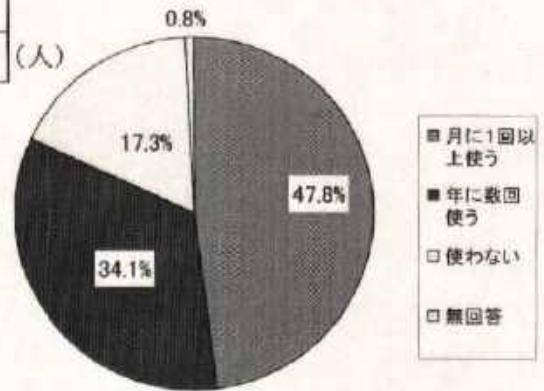
問4 家で本を読むことはありますか？



その他：宿題のみ
：仕事をしていて子どもをみる時間が少ないので本を読んでいるかわからないなど

問5 図書館や移動図書館を利用しますか？

月に1回以上使う	年に数回使う	使わない	無回答
375	268	136	6

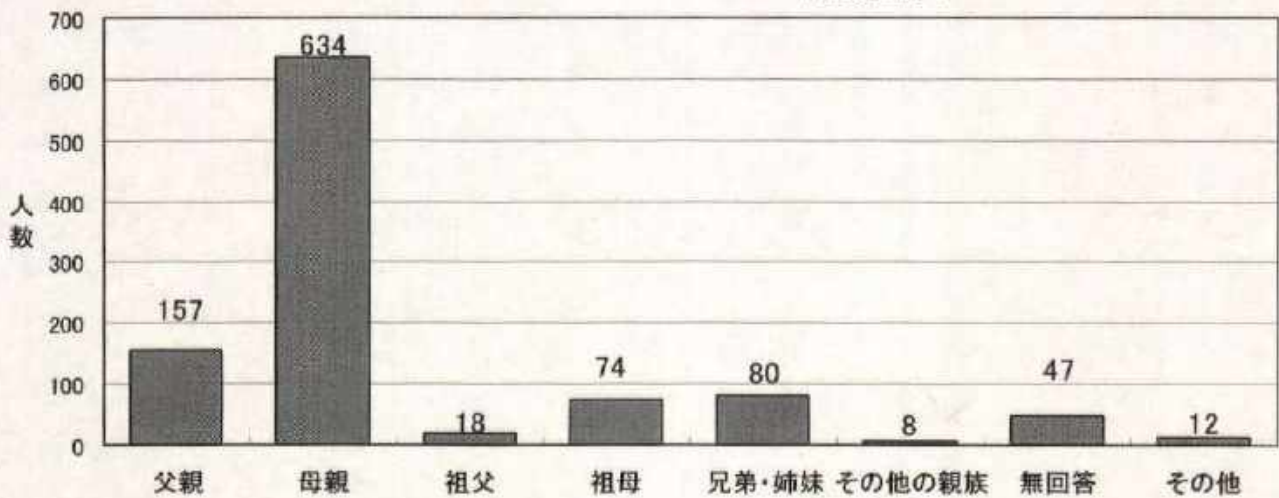


問6 ご家族で読み聞かせをするのはどなたですか？

父親	母親	祖父	祖母	兄弟・姉妹	その他の親族	無回答	その他
157	634	18	74	80	8	47	12

(人)

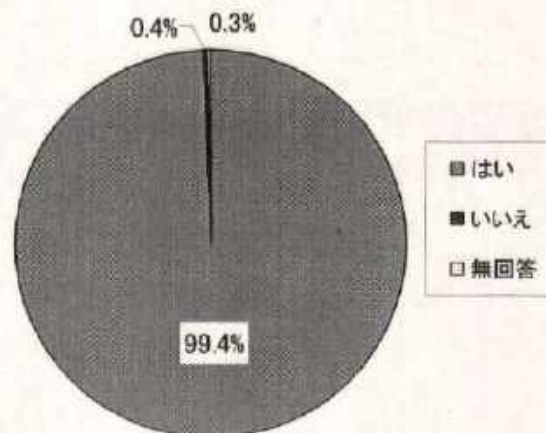
※複数回答可
 その他：読み聞かせしない
 ：自分で読むなど



問7 子供が本を読むことは大切だと思いますか？

はい	いいえ	無回答
780	3	2

(人)



小学校3・4年生の結果

- * アンケート問題
- * 全体の結果
- * ご意見等 (類似・重複分など一部省略)

宇佐市のこどもの読書状況に関するアンケート

(小学校中学年以上用)

学校名 () 年

1. 読み聞かせや本を読むことは好きですか？

はい いいえ

2. 過去1ヶ月間に自分で読んだ本は何冊ですか？(マンガ・雑誌以外)

() 冊

3. 本を読まなかった人へ 理由はなんですか？ (いくつでも○を)

- ・読みたい本がない
- ・勉強や塾
- ・習い事やスポーツ、部活
- ・テレビ、DVD など
- ・インターネット、ゲーム
- ・本がきれい
- ・本をいつも読まない
- ・他にやりたいことがある
- ・身近に本がない

4. 家で本を読むことはありますか？

- ・ほぼ毎日
- ・週に3回以上
- ・週に1回くらい
- ・月に2～3回
- ・年に数回
- ・ほとんど読まない

5. 図書館や移動図書館(ほんの森号、ほんの夢号)を利用しますか？

- ・月に1回以上使う
- ・年に数回使う
- ・使わない

6. こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、など

()

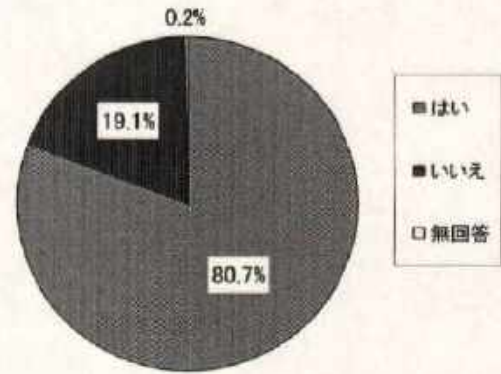
ご協力ありがとうございました

小学校3・4年生の結果

問1 本を読むことは好きですか？

回答人数	はい	いいえ	無回答
1,018	822	194	2

(人)

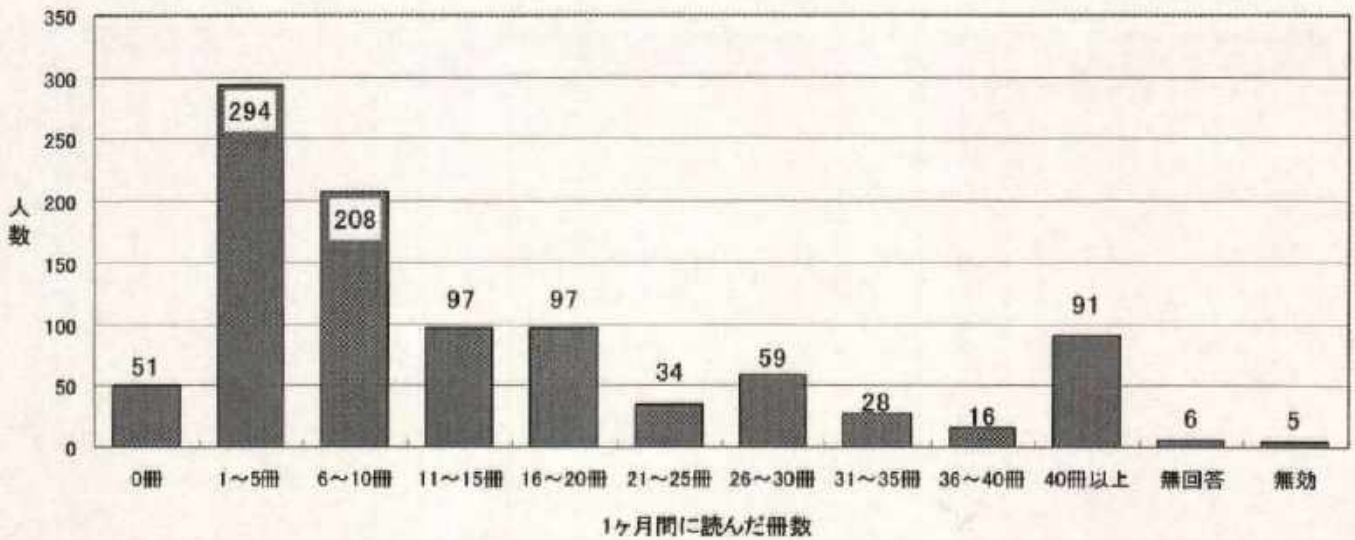


問2 過去1ヶ月間に自分で読んだ本の冊数

0冊	1~5冊	6~10冊	11~15冊	16~20冊	21~25冊	26~30冊	31~35冊	36~40冊	40冊以上	無回答	無効
51	294	208	97	97	34	59	28	16	91	6	5

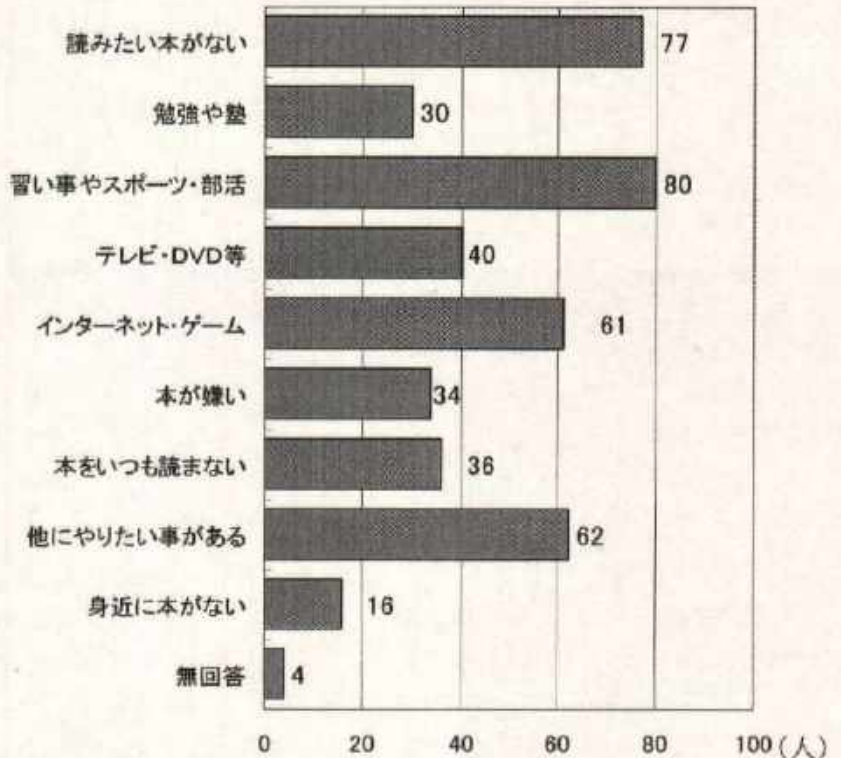
(人)

1人平均16.5冊

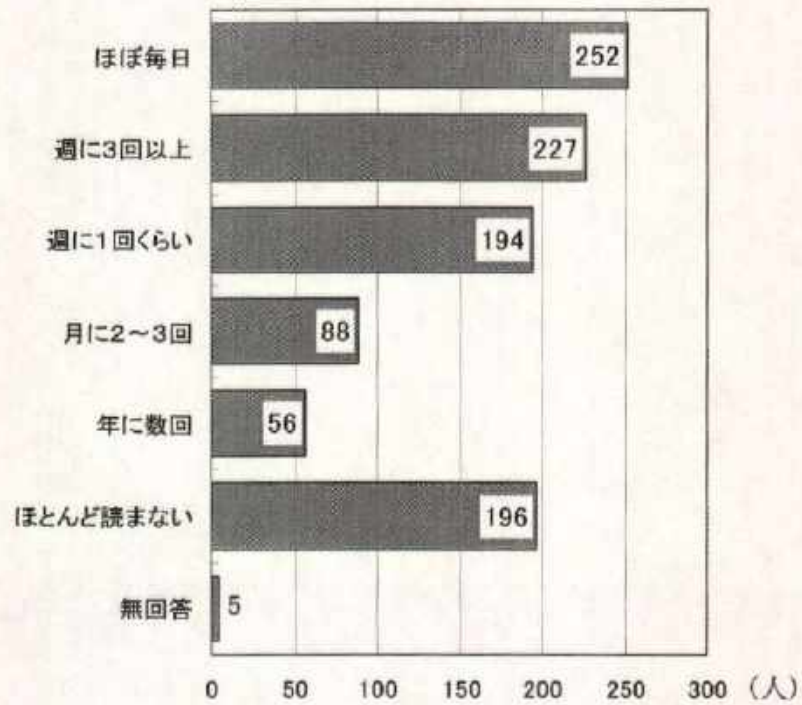


問3 本を読まなかった人へ理由は何ですか？

※複数回答可

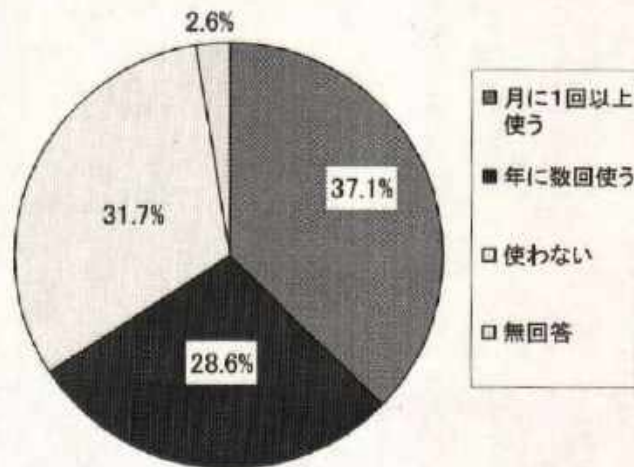


問4 家で本を読むことはありますか？



問5 図書館や移動図書館を利用しますか？

月に1回以上使う	年に数回使う	使わない	無回答	(人)
378	291	323	26	



BM 巡回	問6:こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、などご意見をどうぞ
有	<ul style="list-style-type: none"> ・今のでじゆうぶんです。 ・アニメやマンガやアニメマンガがいい。ほんの森号の本をふやしてください。 ・もうちょっと本をふやしてください。 ・時間を昼休みにしてほしい。 ・ひるやすみにきてほしい。 ・本をふやしてほしい。 ・コミックスのコーナーがあったらいい(ワンピース トリコ)。 ・たくさん本をもってきてほしい。 ・月ようもやってほしい。 ・週に3回きてほしい。 ・マンガをいっぱいもってきてほしい。 ・クイズをだして、しおりをだしてほしい。 ・コミックコーナーを作ってほしい。 ・1週間4回来てほしい。 ・マンガのコーナーを5列ぐらい作ってほしい。 ・前みたいにクイズの紙をだして、しおりをきた時にかならずもってきて。 ・しおりをもってきてほしい。 もっと本をいれてほしい。 ・週に4回きてほしい。 ・かりる期間が長い。 ・子どもむけの本があればいいと思う。 ・本の森号を2台にしてほしい。 ・家にも本の森号がきてほしい。もっとふやしてほしい。 ・本の森号を2だいにしてほしい。 ・本の森号がもっとたくさん来てほしい。 ・いついってもえいががみられる。 ・車(本の森号)がら音楽がながれる。 ・おもしろい本とこわい本を作ってください。新しい本をふやしてください。 ・午後7時ぐらいまであいている。 ・本の森ごうのくるまがおおきくしてほしい。 ・ほんの森号もっと宇佐小学校に来てください。 ・本の森号をもっと大きくしてください。 ・新しい本をもっとふやしてください。 ・本を、もっとふやしてください。 ・新しい本を、ふやしてほしい。 ・本の森号の本をふやしてほしい。 ・本のもりごうが月に、3回ぐらいきてください。 ・本の森号がもうちょっとたくさん来てほしいです。

BM 巡回	問6:こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、などご意見をどうぞ
有	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館がむりょうやったらいい。 ・いってもよどこにあるかわからないので、「～コーナー」とかかいてほしい。 ・使わない。
無	<ul style="list-style-type: none"> ・いどうとしょかんがいっぱいきてくれたらいいなと思いました。 ・いろいろもっと本のしゅるいをふやしてくれればもっともったりようしたいです。 ・時間をながくしてほしい。 ・時間をもうすこしながくしてほしい。 ・もっとわかりやすい所に本をおいてほしい。 ・すわる所をふやしてほしい。 ・あいている時間を長くしてほしい。 ・時間を、6:00ではなくて、もうすこし、時間を長くしてください。 ・もうすこし、いすや、テーブルをふやしてください。 ・コワーイ本や。もっと時間を1、2時間ぐらいのばしてください。 ・もうちょっとしまる時間を長くしてほしいです。 ・とてもかんしゃしています。 ・午前7時から午後8時まで開けてください。 ・本をさがす時にもうちょっとさがしやすいようにしてほしいです。 ・もうちょっと本のしゅるいをわかるようにくふうしてください。 ・かみしばいをもうちょっとよみきかせをしてください。 ①むかしばなしとかをいっぱいかりたいのもっと本をふやしてください。 ②おうちにとどけてくれたらいいな。 ③長いやすみをつかって毎日いってからめえわくするのでちゅういします。 ・しめる時間をちょっとおそくしてほしい。 ・広いから、すわるイスをちょっとふやしてほしい。 ・開いてる時間を8時までにしてほしい。 ・いすがあって本がよめる場所があつたらいいなと。 ・ベッドがあつたらいいな。 ・本がたくさんあって、ゆっくり読めるへやがあつたらいいそして、ベット。 ・音楽をきく場所があつたらいい。 ・いろんなまんがの本があつたらいいです。 ・おもしろい本があればいいんだけど。みんなが本をよみながらべん強できるところがあればいい。 ・テレビやDVDが見れたらいいな。 ・マンガがあつたら利用したい。 ・近い。 ・もっとせんごく、安土もも山じだいの本をふやしてください。 ・マンガとかだったら毎日よむ、だからマンガがあつたらいい。 ・あざやかな配色のものにひかれたり、大きな絵のものにひかれるのかなあとと思います。

BM 巡回	問6:こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、などご意見をどうぞ
有	<p>クイズやなぞなぞなどをきたときにしてくれればいいと思う。</p> <p>・もっとどこにどんな本がおいているかわかるようにしてほしい。</p> <p>・図書館が近かったら、動物の本をかりる。</p> <p>・図書館が近かったら行く。</p> <p>・ほんの森号が一週間に一回くらいきてほしい。</p> <p>・ほんの森号ほんの夢号がこうごに週に1回ずつきてくれたらいい。</p> <p>・近かったら。</p> <p>・家が近かったら。</p> <p>・図書館が近かったらうれしいです。</p> <p>・近かったら使いたい。</p> <p>・わたしの家のちかくにあったら。</p> <p>・ワンピースの本がいっぱいあったらいっぱいかりたり、週に1回きてほしい。</p> <p>・本をかりるとき15さつぐらいかりたい。</p> <p>・もうちょっと本がキレイだったらいいなどおもった。</p> <p>・近くにあったら。</p> <p>・近くにあったら。</p> <p>・おもしろい話がいっぱいあったら利用したい。</p> <p>・よみたい本があるから本のもりごうはとてもいいと思います。</p> <p>・ほんの森号だからほんの夢号がきてほしい。あたらしい本がよみたい。</p> <p>・もうちょっと本がきれいだったら利用したい。</p> <p>・かざりがあったり、プレゼントがあったり。</p> <p>・小説や伝記や童話がたくさんのせてくれたりしおりキャンペーンがまたしたい。</p> <p>・使いやすい。</p>
無	<p>・本をふやしてほしい。</p> <p>・移動図書館がもっと来てほしい。</p> <p>・移動図書館がもってきてほしい。</p> <p>・しまる時間をのばしてほしい。</p> <p>・本をよむスペースを広くしたらいいと思う。</p> <p>・もうちょっとしまる時間をのばして下さい。</p> <p>・しまる時間を、少し長くしてほしい。</p> <p>・つくえを多くしてください。</p> <p>・読むスペースをすこしひろくほしい。</p> <p>・一時間でもいいから時間を長くしてほしい。</p> <p>・あいているじかみをながくしてほしい。</p> <p>・いどうとしょかんをもっとほかのちくにもきてほしい。</p> <p>・かりる本がいっぱいあってほしい。</p> <p>・時間を長くしてほしい。</p>

BM 巡回	問6:こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、などご意見をどうぞ
無	<ul style="list-style-type: none"> ・本がかりられるひずけがなくなしてほしい。 ・もうちょっとこどもがよむスペースをおおくしてほしい。 ・本の森号がもってきてほしい。 ・移動図書館が週に一回きてほしい。 ・しまる時間をおそくしてほしい。 ・本がかりれる日付をふやしてほしい。 ・きゆうかん日をなるべくへらしてほしい。 ・マンガとかをいっぱいおいてほしい。 ・学校に来て(森号とか?)くれたらかりたい。 新しい本がいい理由(古い本ばかりだから)。 ・全部の本がある図書館。 ・同じ本を何さつか、いれてほしい。(理由)他の人がかりていても、本がよめるからです。 ・い動図書館がもっと近くにきたら利用したい。 ・楽しい本、短くて分かりやすい。絵が大きい。 ・リズムにのって読めるような本。

小学校5・6年生の結果

- * アンケート問題
- * 全体の結果
- * ご意見等 (類似・重複分など一部省略)

う さ し 宇佐市のこどもの読書状況に関するアンケート

(小学校中学年以上用)

学校名 () 年

1. 読み聞かせや本を読むことは好きですか？

はい いいえ

2. 過去1ヶ月間に自分で読んだ本は何冊ですか？(マンガ・雑誌以外)

() 冊

3. 本を読まなかった人へ 理由はなんですか？ (いくつでも○を)

- ・読みたい本がない
- ・勉強や塾
- ・習い事やスポーツ、部活
- ・テレビ、DVD など
- ・インターネット、ゲーム
- ・本がきれい
- ・本をいつも読まない
- ・他にやりたいことがある
- ・身近に本がない

4. 家で本を読むことはありますか？

- ・ほぼ毎日
- ・週に3回以上
- ・週に1回くらい
- ・月に2～3回
- ・年に数回
- ・ほとんど読まない

5. 図書館や移動図書館 (ほんの森号、ほんの夢号) を利用しますか？

- ・月に1回以上使う
- ・年に数回使う
- ・使わない

6. こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、など

()

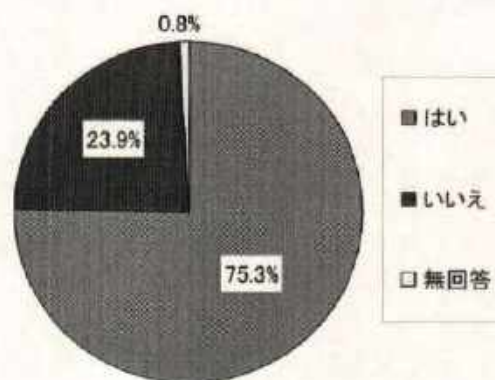
ご協力ありがとうございました

小学校5・6年生の結果

問1 本を読むことは好きですか？

回答人数	はい	いいえ	無回答
	813	258	9

(人)

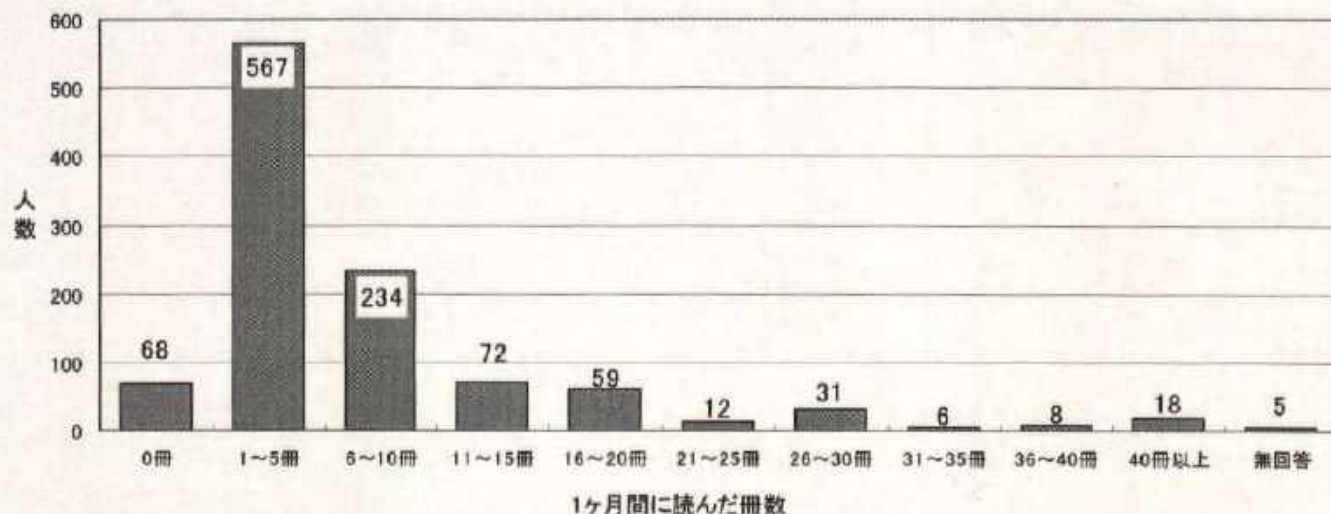


問2 過去1ヶ月間に自分で読んだ本の冊数

0冊	1~5冊	6~10冊	11~15冊	16~20冊	21~25冊	26~30冊	31~35冊	36~40冊	40冊以上	無回答
68	567	234	72	59	12	31	6	8	18	5

(人)

1人平均8冊

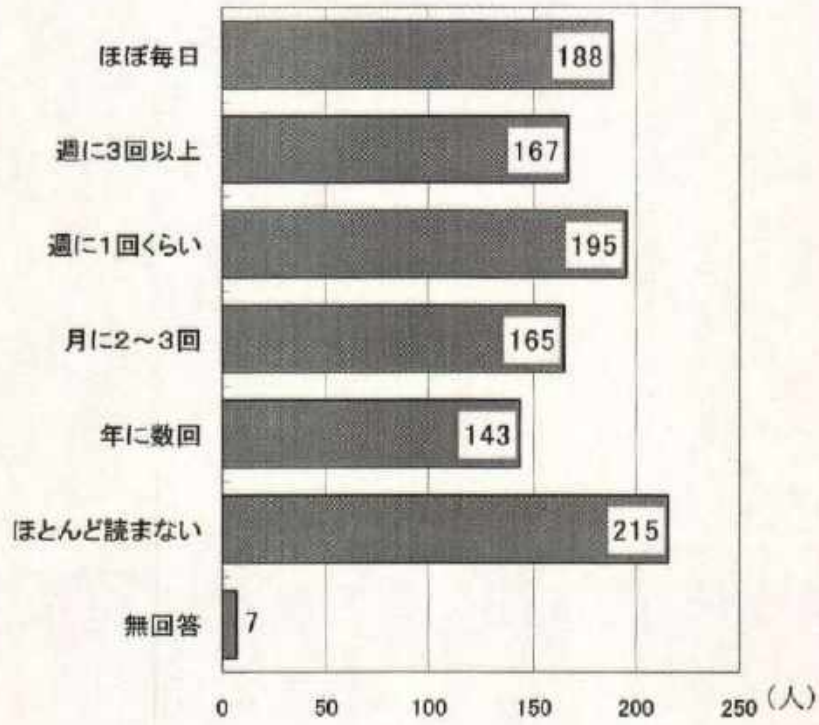


問3 本を読まなかった人へ理由は何ですか？

※複数回答可



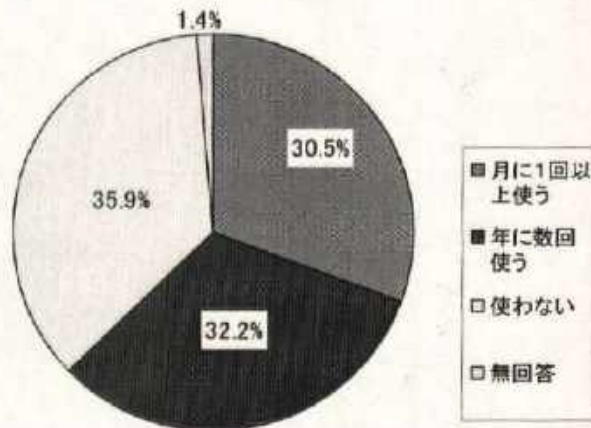
問4 家で本を読むことはありますか？



問5 図書館や移動図書館を利用しますか？

月に1回以上使う	年に数回使う	使わない	無回答
329	348	388	15

(人)



BM 巡回	問6:こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、などご意見をどうぞ
有	<ul style="list-style-type: none"> ・家にもものがたりしかないので、「ほんの森号」を使って、文がいっぱいある本を読みたいです。 ・もう少し学校に近かったらいい。 ・もう少しマンガがほしい。 ・学校に図書館が近いといい。 ・たのしいとしゃかんだったらいい。 ・いまで満足です。 ・でんわでほんの森号がくればいい。 ・本の森号ですわる所をふやしてほしい。 ・DVDなどかし出しする。 ・本をすわって読めたら利用する。 ・本の森号にマンガやめずらしい本とかをいれてほしい。こうりやく本(モーハン)とかもいれてほしい。 ・ゲームのこうりやく本やマンガをおいてくれ。(本の森号で) ・今のままでじゅうぶんです。 ・今の本で十分です。 ・いまのままでよいです。 ・本当に自分が探してる本が見つかる図書。 ・本をくれるなら。 ・本をくれるシステムがあつたら。 ・しおりがもらえたらりょうしたい。
無	<ul style="list-style-type: none"> ・本の森号が、学校の授業と同じ時間だから、もうちょっとだけ時間がほしい。 ・場所がはなれている。学校に行っている時間だったりするからなかなか行くことができない。 ・本の森号にいきたいです。 ・本の森号と時間が合わない時があるから。 ・ほんの森号の時間が合わない。 ・ほんの森号のくる時間がちがったらいい。 ・学校が終わっていなくてほんの森号にまにあわない。 ・ほんの森号がきている時間は、学校がおわっていないからもうちょっとおそい時間だったら。 ・木曜日は、6時間目までなので利用できないので、すこしくふうをしてください。 時間があわない。 ・いまのままでじゅうぶん。 ・いまのままでじゅうぶん。 ・図書館がもっと近く。 ・移動図書の場所をふやしてほしい。 ・もっとキレイだったら。 ・動物の本(絵本じゃない)のものがたりをもっとふやしてほしい。 ・家の近くにあつたらいいなと思う。 ・マンガの小せつばん。もう少し本をふやしてほしい。などです！

BM 巡回	問6:こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、などご意見をどうぞ
無	<p>1, 2年、3, 4年、5, 6年向けと学年で分けて、コーナーを作ってほしい。</p> <p>-キャンペーンやイベントやえいがむりょうなら利用したい。</p> <p>-どこになにかがあるかわかりやすくしてほしい(作者)など。</p> <p>-本がどこにしているかもっとわかりやすくした方がいいと思う。</p> <p>-イベントがあると利用したい。</p>

BM 巡回	問6:こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、などご意見をどうぞ
有	<ul style="list-style-type: none"> ・マンガ、雑誌もおいてある移動図書館。 ・人気の本とかがもっといっぱいあったらすぐくよみたくなる。 ・移動図書館のくる回数を少し増やしてほしい。 ・ほんの森号のかいすうをふやしてほしい。 ・移動図書館の回数をふやしてほしい。 ・昼休みなら利用したい。 ・私は、本は、好きです。でも、よんでたら、ときどき、やぶれている、ページがあるから、みんなに、本を大切にしてほしいと思います。 ・「こうだったら利用したい」いっぱいおもしろい本があれば利用したいと思う。 ・週に1、2回ぐらい、むりだったら月に2、3回ぐらい来てほしい。 ・この近くにちいさくていいから本の読むとこがいいと思います。 ・遠いので、支店みたいに、小さくていいから、宇佐、長洲ぐらいに1つつくってほしい。 ・小さくてもいいので、近くに図書館があるといい。 ・もっと本の数をふやせばいいと思う。 ・少し本の森号がくる時を多くしてくれたら利用したい。 ・移動図書館にたくさん本があれば。 ・図書館に行く機会があまりないのでくるときをもう少し多くしてほしい。 ・いっぱい借りれるようになればいい。 ・映画で上映済の本をおいてほしい。 ・自転車で行けるような小さい図書館があれば利用する。 ・移動図書館にもっと本をふやしてほしい。 ・図書館にもっとたくさん本を置いてほしい。 ・文庫本や小説を増やしてほしい。文庫本でしかない物語があるので、それを特に。 ・ほんの夢号の本を多くしてほしい。 ・子どもの所から中学生の所まで遠くてめんどうなのでなるべく近いところにおいてほしいです。 ・最近、はやり(新しい)本があるなら利用したい。 ・読みたい本などをリクエストしたらもってきてくれる。 ・待たなくてもかりれるんならもっとかりたい。 ・本がきれいだったら利用したい。
無	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少しまんがをふやしてほしい。 ・近くに図書館があったら毎日行く。 ・最近のCDがあった方がよい。 ・もっと新しい本がいい。 ・静かな音楽を流してみるといいかも。 ・図書館大好きです！！ ・ほんの森号や夢号が学校に来た時に利用したい。占いなどの本が読みたい。 ・近くにあったら利用したい。 ・ほんの森号、ほんの夢号が、家の近くにくるんだったら利用したい。 ・借りれる期間がもう少し長かったらいい。

中学生の結果

- * アンケート問題
- * 全体の結果
- * ご意見等 (類似・重複分など一部省略)

宇佐市のこどもの読書状況に関するアンケート

(中高生用)

学校名 () 年

1. 本を読むことは好きですか？

はい いいえ

2. 過去1ヶ月間に自分で読んだ本は何冊ですか？(マンガ・雑誌以外)

() 冊

3. 本を読まなかった人へ 理由はなんですか？ (いくつでも○を)

- ・読みたい本がない
- ・勉強や塾
- ・習い事やスポーツ、部活
- ・テレビ、DVD など
- ・インターネット、ゲーム
- ・本がきれい
- ・本をいつも読まない
- ・他にやりたいことがある
- ・身近に本がない

4. 家で本を読むことはありますか？

- ・ほぼ毎日
- ・週に3回以上
- ・週に1回くらい
- ・月に2～3回
- ・年に数回
- ・ほとんど読まない

5. 図書館や移動図書館(ほんの森号、ほんの夢号)を利用しますか？

- ・月に1回以上使う
- ・年に数回使う
- ・使わない

6. こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、などご意見をどうぞ

()

ご協力ありがとうございました

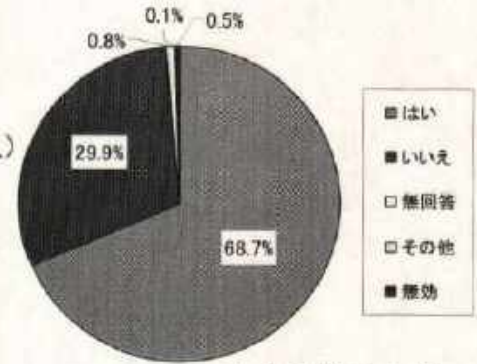
中学生の結果

問1 本を読むことは好きですか？

回答人数	はい	いいえ	無回答	その他	無効	
	1,580	1085	472	13	2	8

(人)

その他：ふつう
無効：複数丸つけなど



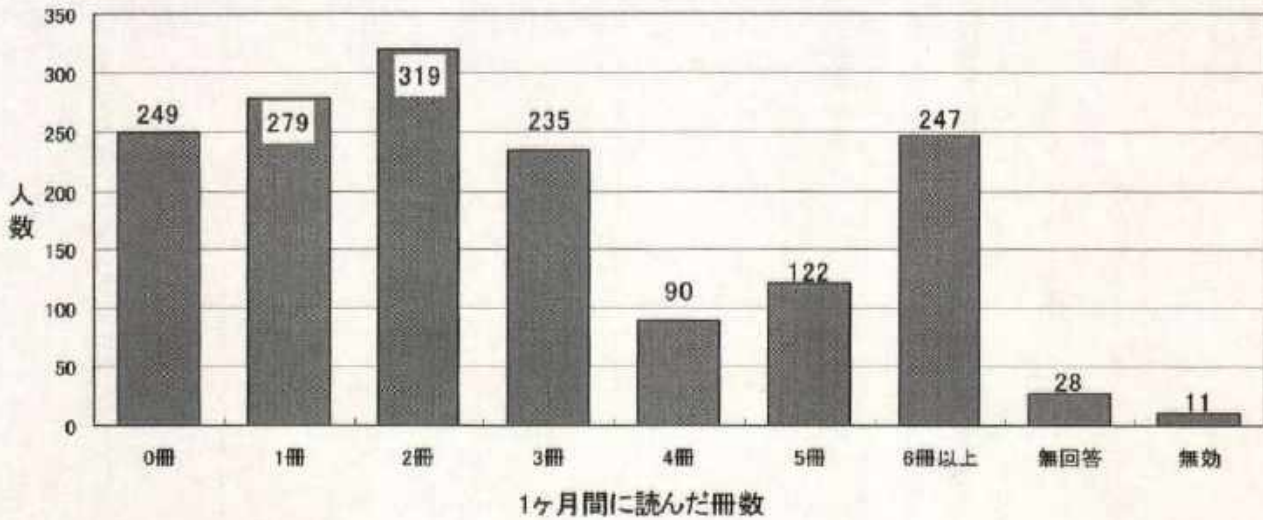
問2 過去1ヶ月間に自分で読んだ本の冊数

1人平均 4.3冊

0冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊以上	無回答	無効
249	279	319	235	90	122	247	28	11

(人)

無効：1000冊など



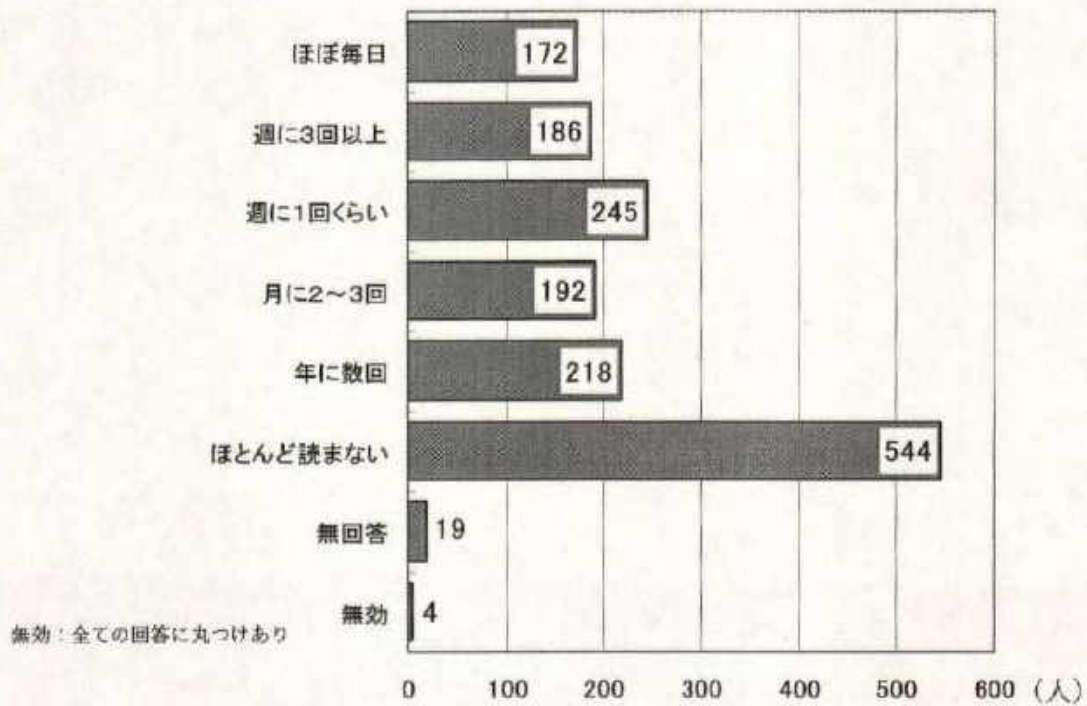
問3 本を読まなかった人へ理由は何ですか？

※複数回答可



無効：全ての回答に丸つけあり

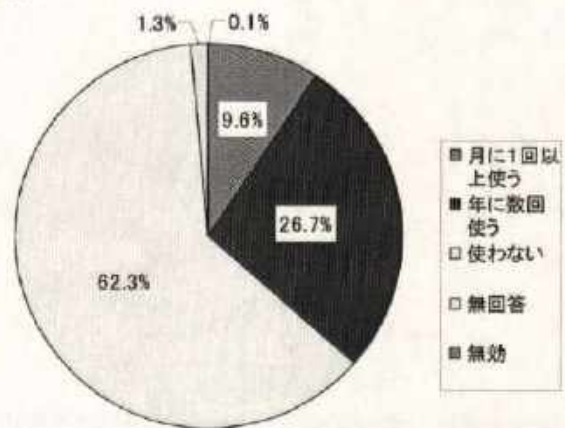
問4 家で本を読むことはありますか？



問5 図書館や移動図書館を利用しますか？

月に1回以上使う	年に数回使う	使わない	無回答	無効	(人)
151	422	984	21	2	

無効：全ての回答に丸つけあり



学年	問6:こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、などご意見をどうぞ
1	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強ができるのでたくさん利用している。 ・すぐちかくに図書館があったら、行きます。 ・家のちかくに図書館があったら行きます。 ・カウンセリング本を増やしてほしい！！ ・図書館で、読みたい本がどこにあるか、すぐに見つけられるように。 ・本は好きなのでなんでもいい。 ・近くに図書館があれば利用したい。 ・近くに図書館が建ったら利用したい。 ・移動図書館がもっと身近に来てほしい。 ・もっと小説が多かったらうれしい。 ・家の近くになれば図書館があればいくと思う。 ・トイストリー。 ・図書館は特に行きません。 ・ぜんまいさむらい。 ・ウルトラせんしのへんしんアイテムしゅうをよみたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・特典がついたらいいかな(50回かりて10円的な) ・携帯小説や、新しいマンガなどが増えたらいいと思います。 ・パソコンで調べる事ができたらいい。 ・今のままで良いと思う。 移動図書館に来てほしい。 ・入りロー一番むこう側の方の本を増やしてほしい。←(階段の絵があるのでヤングコーナー?) ・図書館がもっと近くにあってほしい。 ・とにかく新刊をたくさん出してほしいです。 ・本を増やしてほしい。(種類、新刊) ・マンガや攻略本とかをもっと増やしてほしい。 西中ちかくにも移動図書館がくればいとおもう。 ・ほんの森号がきたらいい。 ・移動図書館が家にきたら利用したい！！ ・本の森号が家に来れば利用したい。 ・学校に本の森号が来たらいい！ ・図書館はよく利用します。本が好きなので特に意見はありません。 ・関連するキーワードで知りたい本がすぐ分かる機械がほしい。 ・新しい本をたくさん読みたいです。よろしくお願いします。 ・最近の本がもっとふえて、せんもん的な本がふえればいいと思います。なまいきいってすみません。 ・いろいろな分やの本をたくさんあれば(用意できれば)利用する。 ・移動図書館が中学校にも来てくれば、利用したいです。 ・中学校にも小学校みたいに本を持ってきてほしいと思います。 ・ティーズ向けの雑誌(Seventeenなど)を置いてほしいです。 ・最近の小説をとり入れる。 ・利用する気はない。 ・無料で貸し出してくれる(図書カードなし)。 ・もっと新しい本をよみたい！！～。

学年	問6:こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、などご意見をどうぞ
2	<ul style="list-style-type: none"> ・きたろうの本をかりたいです。 ・ことわざ。百人一首。ドラえもん。なぞなぞ。 ・電車。ちびまるこちゃん。 ・DVDを見るのは好きです。 ・パトカーの本。ソニックの本。 ・神楽についての本。 ・ありません。4件
3	<ul style="list-style-type: none"> ・アダルトコーナーを作ってほしい(ヤング)。 ・もっと楽に借りれるようになったら利用したい。 ・図書館が近かったら。 ・いい本がただでもらえたらいい。 ・図書館は家からとおいのであまり利用できません。 ほんの森号やほんの夢号も見た事もなく近所に来ないので利用できません。 ただ、本は好きなので読める時間があれば読みたいです。 ・もっと近くに気軽に本を読める場所がほしい。 ・ライトノベルが図書館にたくさんあってほしい。 ・近くに来てくれるなら利用したい。 ・新しい本を追加する。 ・もう少し、家の近辺に、図書館や、本の森号さんが、来てくれると、利用しやすい。 ・えーと曾根崎心中とかおいらんとかの本を読みたいけどみつけれない。 ・こんな本ならというより読みたい本があっても金銭的に手に入れないので読む本がない。 ・自分が言った本を取りよせてくれる図書館です。 ・のみものをのみながら本を読めたら、最高。 ・金をもらえたら利用したい。 ・今のままでよい。 ・朝読みたい。 ・もっと勉強するスペースを広くしてほしい。 ・小説がたくさんっている移動図書館が中学にきたら。 ・大人向けの難しい絵本や変な本がもっとあってほしい。 ・きれいな本。 ・本をいっぱいバスでもってきてほしい。 ・最新のCDをいれてほしい。 ・検定資料本がある。 ・推理小説などを増やしてほしい。 ・青年向けの同人誌をおいてほしいです。どうぞよろしくおねがいたします。 ・文字が少ない。おもしろい。 ・もう少し携帯小説を増やしてほしいです。 あと、院内図書館にももう少し本を増やしてほしいです。 ・単純な挿絵で、ことばが少ないもの。絵カード(くだもの、動物、野菜、日用品、乗り物、公共施設、職業etc. . .) ・どうぶつのほん。くまのプウサン。 ・ねこの本。

高校生の結果

- * アンケート問題
- * 全体の結果
- * ご意見等 (類似・重複分など一部省略)

宇佐市のこどもの読書状況に関するアンケート

(中高生用)

学校名 () 年

1. 本を読むことは好きですか？

はい いいえ

2. 過去1ヶ月間に自分で読んだ本は何冊ですか？(マンガ・雑誌以外)

() 冊

3. 本を読まなかった人へ 理由はなんですか？ (いくつでも○を)

- ・読みたい本がない
- ・勉強や塾
- ・習い事やスポーツ、部活
- ・テレビ、DVD など
- ・インターネット、ゲーム
- ・本がきれい
- ・本をいつも読まない
- ・他にやりたいことがある
- ・身近に本がない

4. 家で本を読むことはありますか？

- ・ほぼ毎日
- ・週に3回以上
- ・週に1回くらい
- ・月に2～3回
- ・年に数回
- ・ほとんど読まない

5. 図書館や移動図書館(ほんの森号、ほんの夢号)を利用しますか？

- ・月に1回以上使う
- ・年に数回使う
- ・使わない

6. こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、などご意見をどうぞ

()

ご協力ありがとうございました

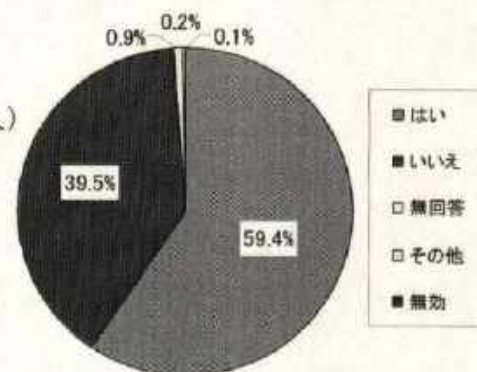
高校生の結果

問1 本を読むことは好きですか？

回答人数	はい	いいえ	無回答	その他	無効
1,673	994	660	15	3	1

(人)

その他：ふつう
：どちらともいえないなど
無効：複数丸つけ



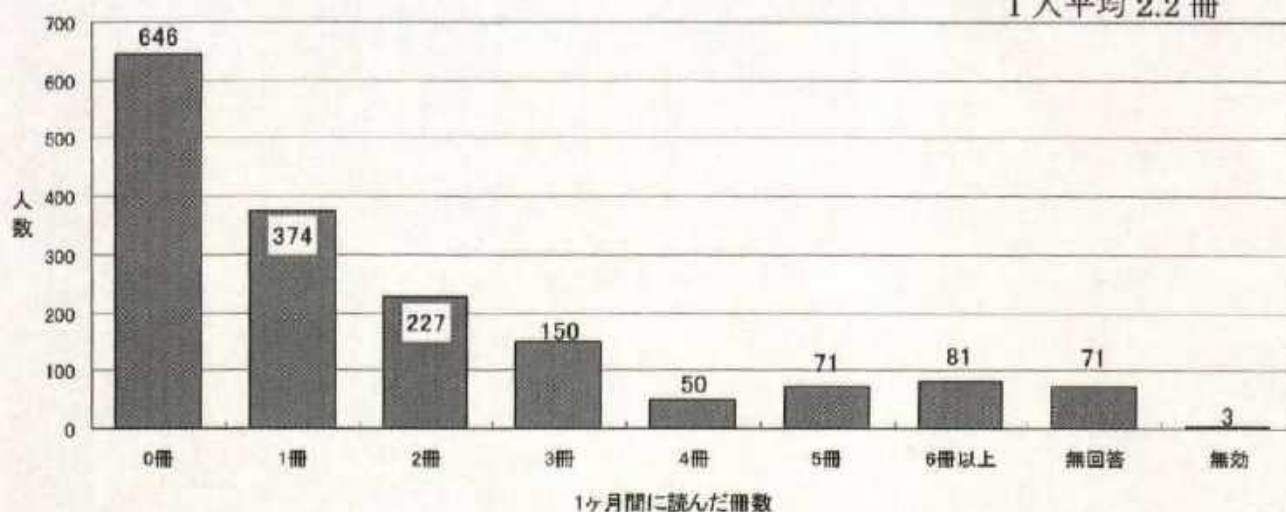
問2 過去1ヶ月間に自分で読んだ本の冊数

0冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊以上	無回答	無効
646	374	227	150	50	71	81	71	3

(人)

無効：900冊
：6万冊など

1人平均 2.2冊

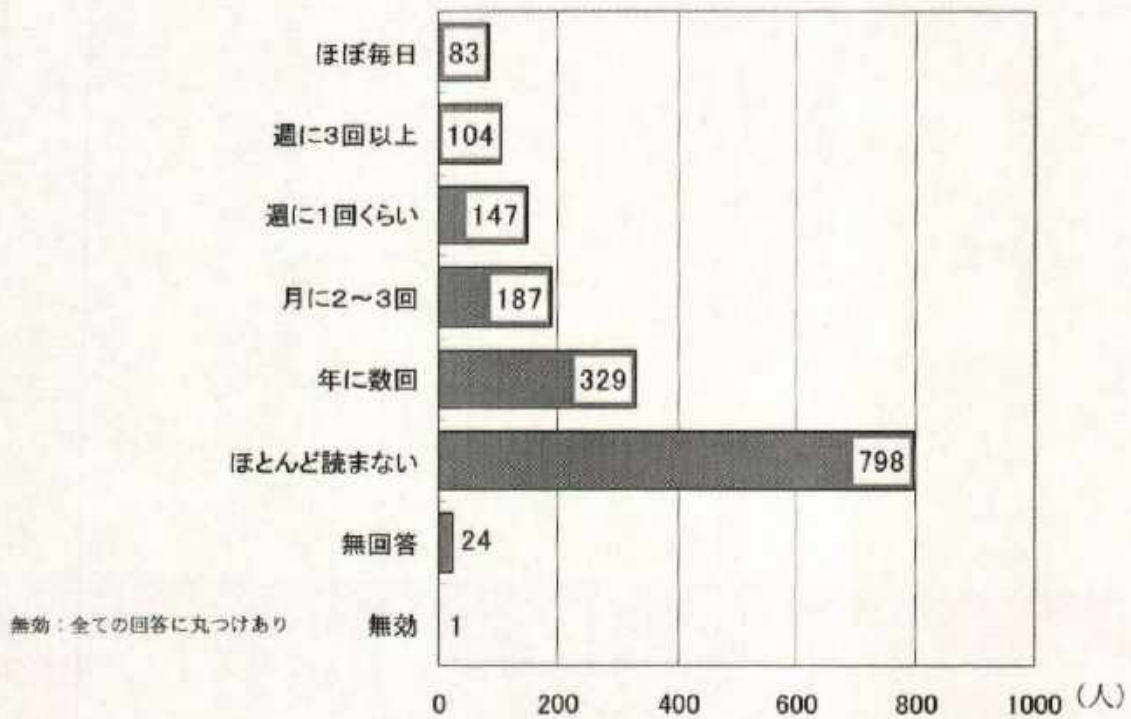


問3 本を読まなかった人へ
理由は何ですか？

※複数回答可

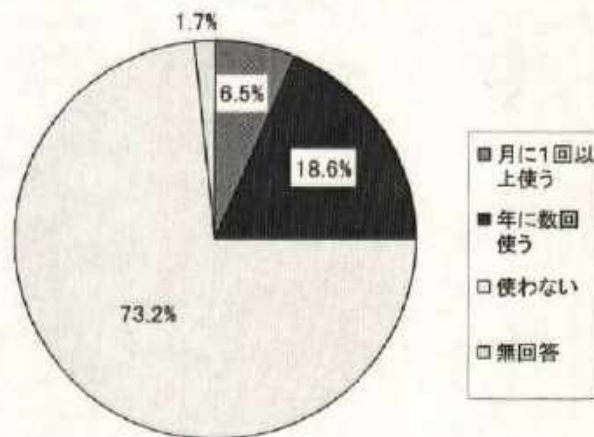


問4 家で本を読むことはありますか？



問5 図書館や移動図書館を利用しますか？

月に1回以上使う	年に数回使う	使わない	無回答	(人)
108	312	1225	28	



学年	問6:こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、などご意見をどうぞ
1	<ul style="list-style-type: none"> ・本が探しやすい。見つけやすい。 ・戦闘ものから、恋愛ものまでだいたいOKなので、種類を増やしてほしい。 ・鍵のかかった部屋。 ・時間に余裕があれば利用したいです。 ・読みたくない。 ・美術系の本をもっと増やしてほしい。 ・今のままでいい。 ・いろいろなはばの本を置いてほしい。 ・無料。 ・もっと、いろんなジャンルの本があれば利用したい。 ・安く買える。 ・大河ドラマなどやミステリアスな物。ファンタジー系や恋愛系の本などをもっと増やしてほしいです。 ・今のままで十分だと思います。 ・図書館を利用する時間があれば、基本どんな本でも読みたい。図書館を利用する機会がない。 ・本が少ないので本をもっとたくさんあったら読みたい。 ・中高生に人気のある本を取り入れて欲しい。 ・本は大好きなのですが、他の人達はあまり好きではないみたい。もっと図書室が利用しやすく、少しでもみんなが足を運べる場所になればいいなと思います！！
2	<ul style="list-style-type: none"> ・無料。 ・時間に余裕ができれば読みたい。 ・学習スペースを増やしてほしい。 ・図書館にコバルト文庫などをもっと増やしてほしいです。 ・映画化された原作の本は、読みたいと強く思う。実質、時間がないので厳しい。 ・もっと、ページ数のある本を置いてほしい。 ・近くに書店があったら。 ・もっと生き方によゆうができれば、ぜったいに読みたい。 ・本の種類(特に歴史)が豊富な図書館なら利用したいと思う。 ・図書館は入りにくい感じ。 ・看護の本。図書館の環境がよい。 ・図書室が広く、勉強もしやすく、看護の本をたくさん読みたい。 ・看護に関する本などを入れてほしい。 ・学校に面白そうな本がない。 ・看護の本をふやしてほしい。 ・もっと専門書(看護学の)を増してほしいです。 ・勉強が出来るスペースを増してほしい。 ・パソコンの台数をふやして増してほしいです。 ・ほんの森号、ほんの夢号が学校に来て本をかりたいです。

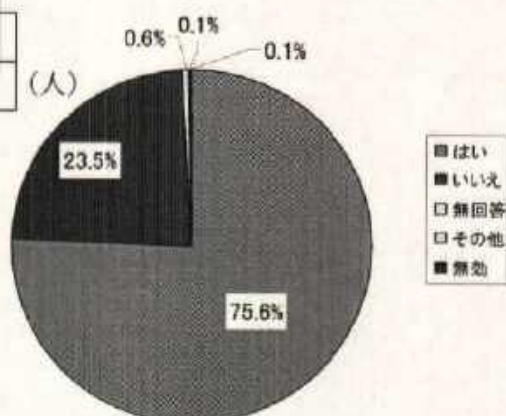
学年	問6:こんな本なら読みたい、こうだったら利用したい、などご意見をどうぞ
3	<ul style="list-style-type: none"> ・読みたい本はたくさんあるのですが、受験のため、なかなか時間がとれません。 ・図書館でさわぐ子ども、小学生が最近多いです。 ・学習スペースがもっとあったらいい。 ・もっと静かだったらいい。 ・推理小説だけのコーナーを作ってほしい。(作者ごとにわけて) ・携帯小説を置いたりしてくれたらもっと利用したい。 ・最新の本がいっぱいあったらいいなあ。 ・学校の近くにあれば利用したい。(歩いて行ける距離) ・面白い本がたくさんあってそれをしょうかいしてほしい。 ・しずかすぎていやだ。 ・近くにあったら利用したい。もしくは交通しゅだんがあったら。 ・もっと家の近くだったら。個室がもっと多かったら。食事つきだったら。 ・最新の本をもっと増やしてほしい。

こども全体の結果

こども全体の結果

問1 本を読むこと(または読み聞かせ)は好きですか？

回答人数	はい	いいえ	無回答	その他	無効
7,691	5,818	1,804	49	9	11

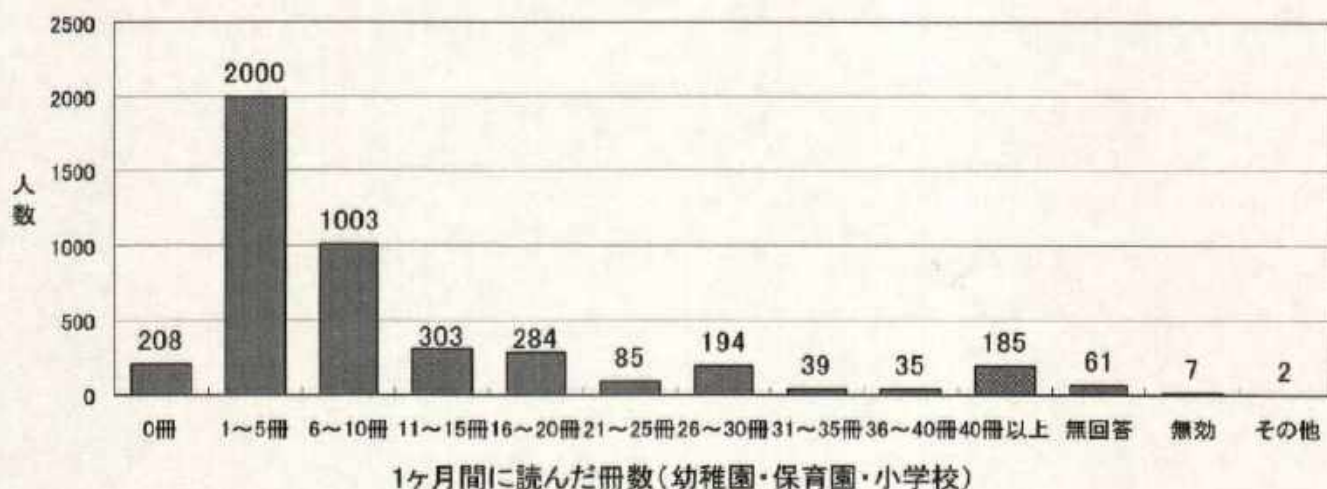


問2 過去1ヶ月間に自分で(または読み聞かせで)読んだ本の冊数

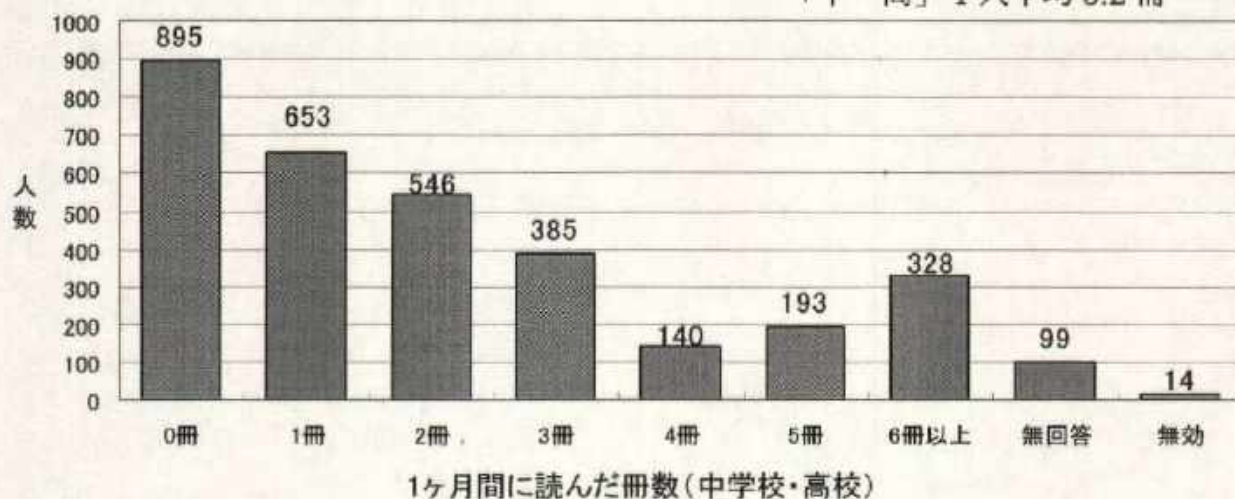
宇佐市全体合計	平均
58,243	7.6

(冊)

「幼・保・小」1人平均10.8冊

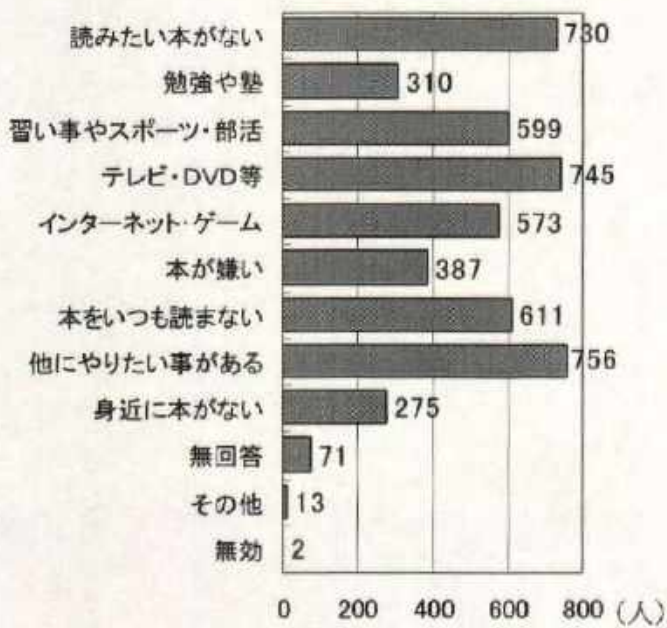


「中・高」1人平均3.2冊

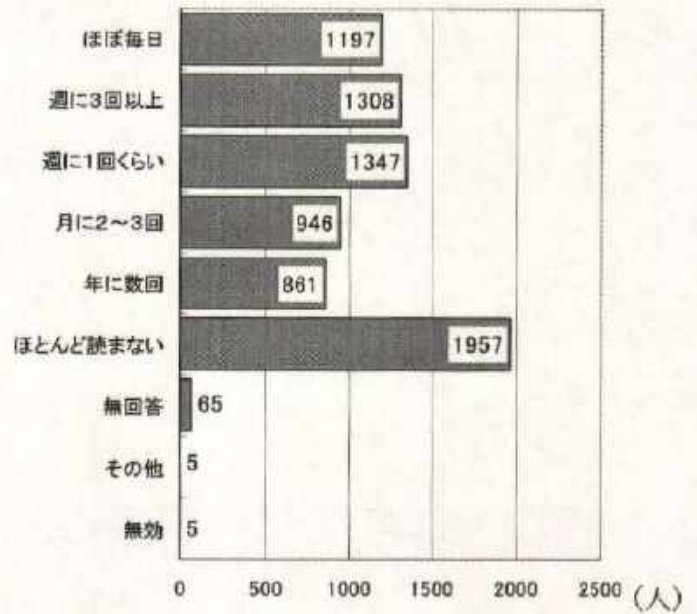


問3 本を読まなかった人へ
理由は何ですか？

※複数回答可

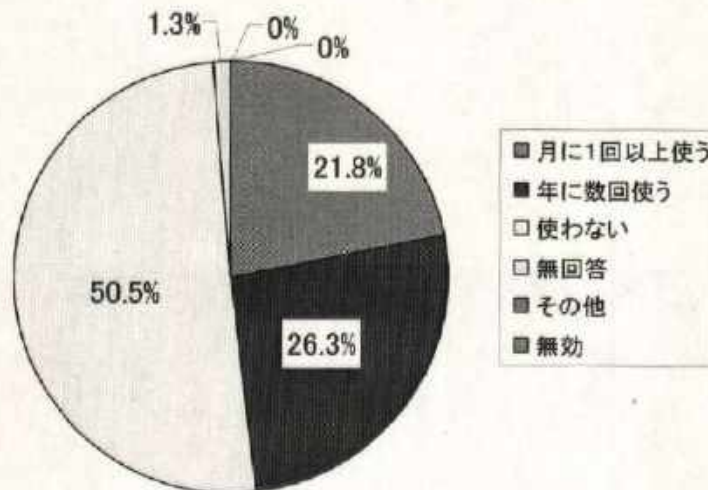


問4 家で本を読むことはありますか？



問5 図書館や移動図書館を利用しますか？

月に1回以上使う	年に数回使う	使わない	無回答	その他	無効	(人)
1678	2022	3886	100	3	2	



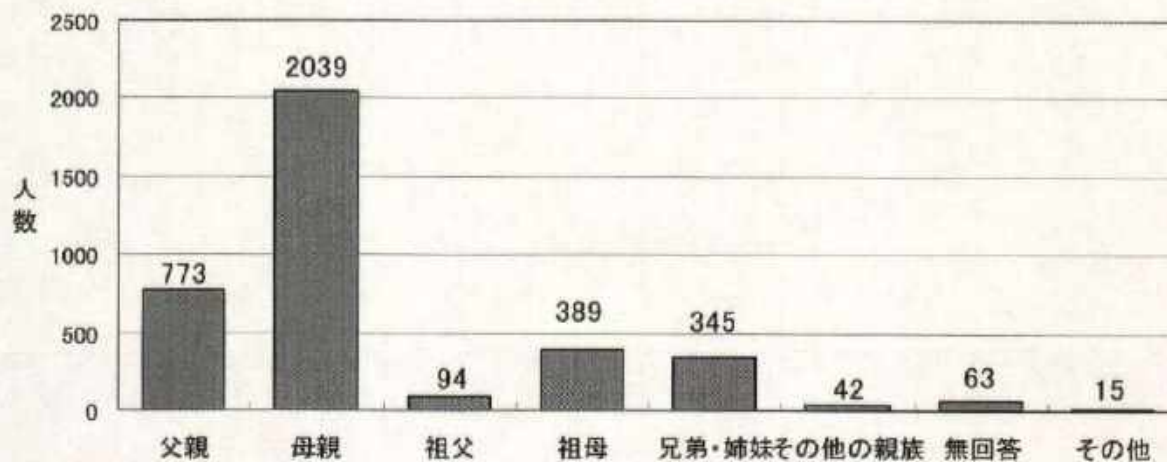
問6 ご家族で読み聞かせをするのはどなたですか？

※幼稚園・保育園と小学校1・2年のみの設問

父親	母親	祖父	祖母	兄弟・姉妹	その他の親族	無回答	その他
773	2039	94	389	345	42	63	15

(人)

※複数回答可

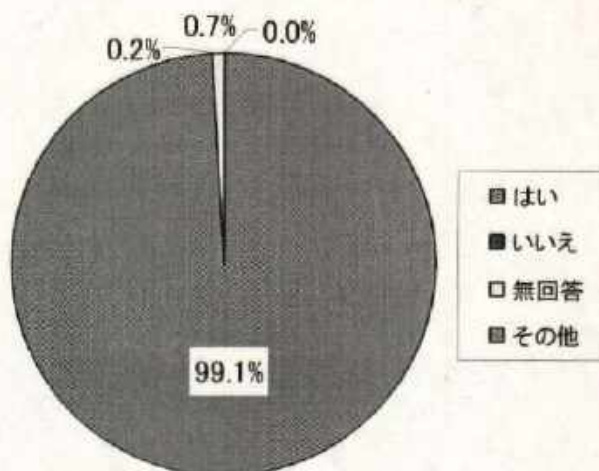


問7 子供が本を読むことは大切だと思いますか？

※幼稚園・保育園と小学校1・2年のみの設問

はい	いいえ	無回答	その他
2318	5	16	1

(人)



先生の結果

- * アンケート問題
- * 全体の結果
- * ご意見等 (類似・重複分など一部省略)

宇佐市の読書状況に関するアンケート (先生用)

学校名 ()

先生ご自身についてお尋ねします。

1. 本を読むことは好きですか? はい いいえ
2. 過去1ヶ月間に読んだ本は何冊くらいですか?(マンガ・雑誌以外) () 冊
3. 図書館や移動図書館(ほんの森号、ほんの夢号)を利用しますか?
・月に1回以上使う ・年に数回使う ・使わない
4. 図書館の市内学校向けサービスをご存知ですか? (知っているものに○を)
・利用案内 ・団体貸出 ・ブックトーク ・業務用レファレンス(fax)
5. 宇佐市民図書館にない本を県内の図書館から無料で取り寄せられることをご存知ですか? 知っている 知らない
6. 図書館のホームページから資料の予約や県内図書館からの取り寄せを含んだリクエストができることをご存知ですか? 知っている 知らない

子どもたちについてお尋ねします。

7. こどもが本を読むことは大切だと思いますか? はい いいえ
8. 子どもたちの読書環境は十分だと思いますか? 十分だ 十分ではない

(理由)

9. どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか?

()

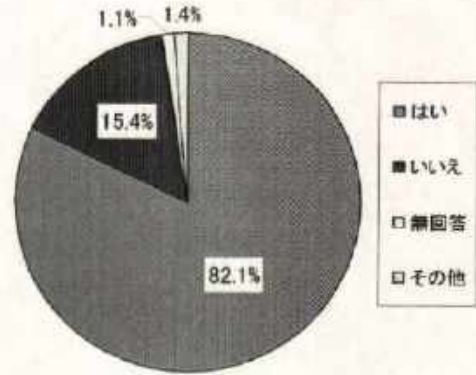
ご協力ありがとうございました

先生の結果

問1 本を読むことは好きですか？

回答教員数	はい	いいえ	無回答	その他	(人)
856	703	132	9	12	

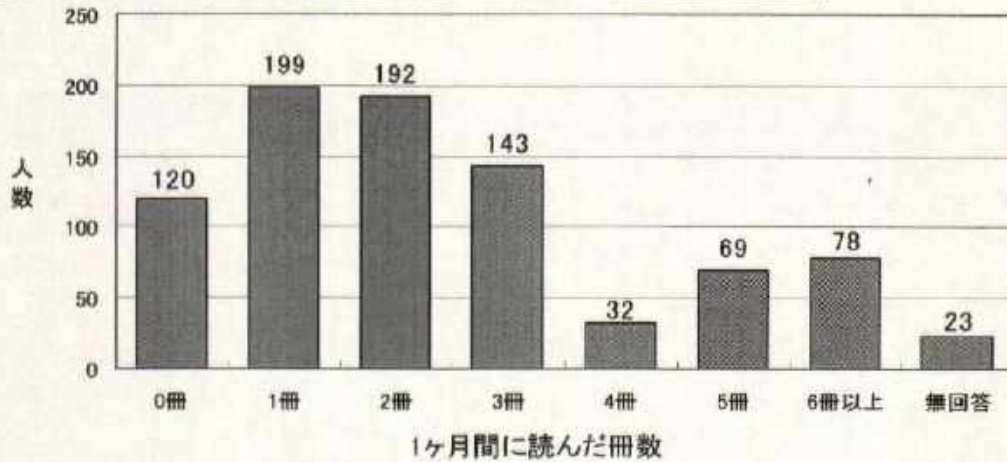
その他：どちらともいえない
：ふつう



問2 過去1ヶ月間に自分で読んだ本の冊数

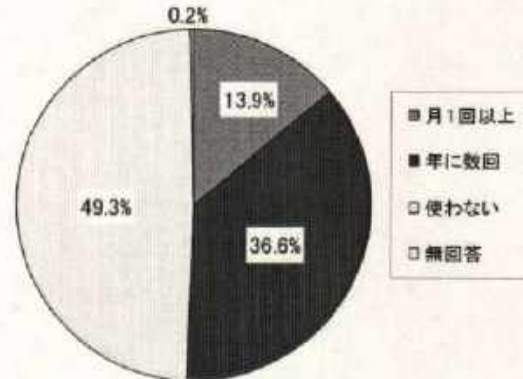
0冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊	6冊以上	無回答	(人)
120	199	192	143	32	69	78	23	

1人平均 2.8冊



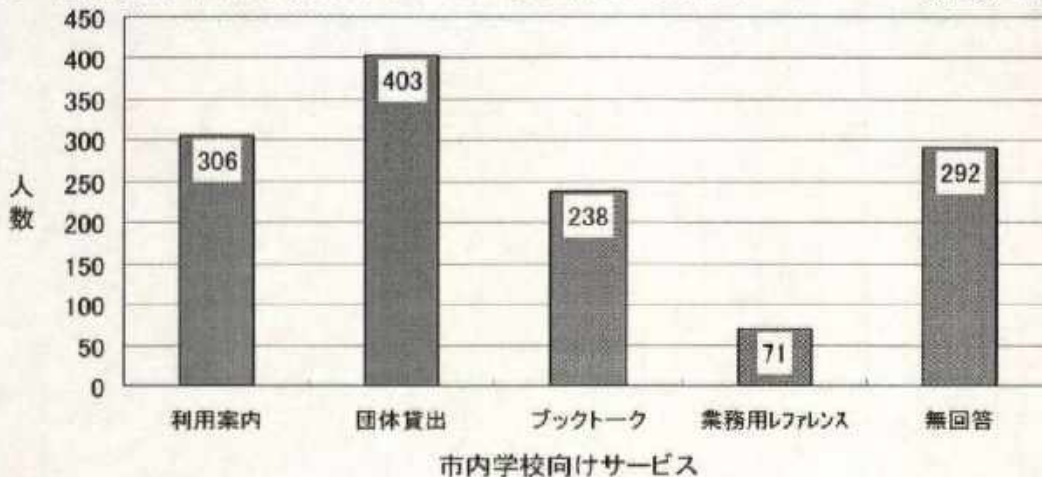
問3 図書館・移動図書館の利用頻度

月1回以上	年に数回	使わない	無回答	(人)
119	313	422	2	



問4 図書館の市内学校向けサービスをご存知ですか？

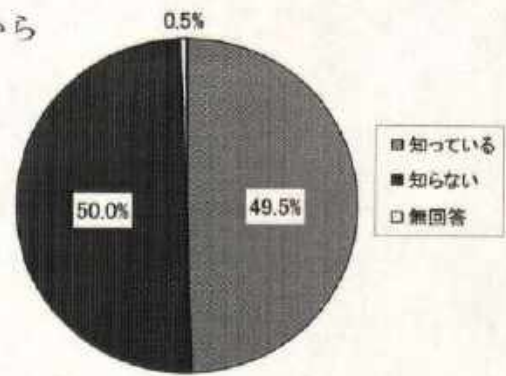
※複数回答可



問5 宇佐市民図書館にない本を県内の他の図書館から無料で取り寄せられることをご存知ですか？

知っている	知らない	無回答
424	428	4

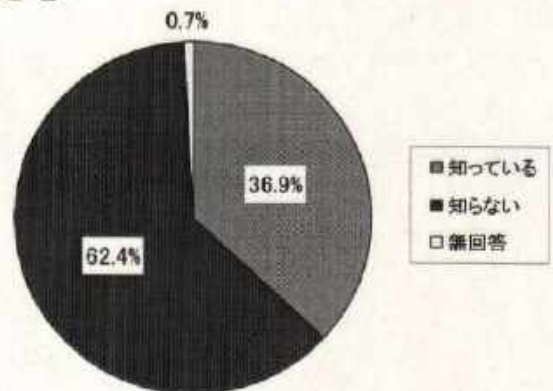
(人)



問6 図書館のホームページから資料の予約や県内図書館からの取り寄せを含んだリクエストができることをご存知ですか？

知っている	知らない	無回答
316	534	6

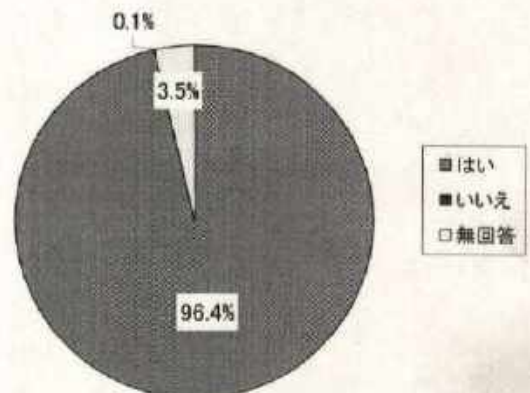
(人)



問7 こどもが本を読むことは大切だと思いますか？

はい	いいえ	無回答
825	1	30

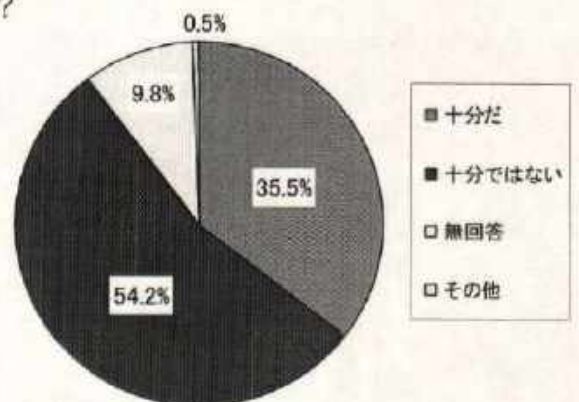
(人)



問8 こどもたちの読書環境は十分だと思いますか？

十分だ	十分ではない	無回答	その他
304	464	84	4

(人)



※問8の理由・記述と問9のご意見を次頁より学校種別に掲載

幼稚園・保育園の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

	問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? (理由)
○	<p>・絵本コーナーを設けている。</p> <p>月1に月刊紙(一誌?)が届き、(1人1冊)保育時間にみんなで読む又は見る機会がある。</p> <p>・近くに図書館などがあり、いつでも絵本を借りることができるから。</p> <p>・読み聞かせの時間や個人で絵本を楽しむ時間を1日に数回設けているので、十分だと思います。</p> <p>・子どもたちみんなに読みきかせをしたり、一人一人ひざに座らせ、触れ合いながら読みきかせをしている。</p> <p>・年齢別の本をそれぞれのクラスに揃えてあるので。</p> <p>・宇佐市民図書館の本が充実している。</p> <p>・図書館があるから。</p> <p>・たくさんの取り組みをしているので十分だと思うがサービスが色々あるのでそれをもっと大々的にアピールすれば利用する人も増えると思う。</p> <p>・季節の本や、興味を持ちそうな本を選び室内に置いていて、よく読んでいる姿を見るから。</p> <p>・たくさん本があり、自由に好きな本を見ることができる。また、コーナーで置いているので、その子の好きなペースで見れたり、友達と見たりして、共有できていると思う。</p> <p>・いつでも読みたい時に子どもの手の届く所に準備している。</p> <p>・おはなしランランなどで読み聞かせしていることで、何冊ものお話を聞けたり、先生達が繰り返し読んでいるので。</p> <p>・市の図書館がある。</p> <p>・たくさんの本の読みきかせをするので、絵本にふれる機会がもてていると思う。</p> <p>・図書館をよく利用しているし、家庭でも読みたい本があれば1か月に1冊程度は買っている。</p> <p>・本の部屋を設けているが、保育者自身が読書の楽しさが身につけていないと子ども達には伝わらない。読み聞かせの研修も以前のように行わない。努めて絵本を読む時間をつくり、継続していくことが大切だと思う。</p> <p>・図書館があったり、問4, 5, 6のようなサービスなどがあるから。</p> <p>・身近に本は多くあるが、玩具なども一緒にあるので気がつく、読めるようになっている。</p> <p>・たくさん本があり、自分達の手の届く所にあるから。</p> <p>・保育園には色々な種類の本があるから。</p> <p>・図書館の設置、貸出の自由、本屋さんも多い。</p> <p>・現代ほど書籍が自由に手に入る時代は無いと思う。</p> <p>・絵本の貸し出しがあるので。</p> <p>・子どもたちが好きな本を自分たちで手に取って見ることができるから。</p> <p>毎日読み聞かせをしてもらい様々な本を見ることができているから。</p> <p>・図書館や移動図書館等利用しようと思えば身近にあるので読み易いと思います。</p> <p>・子ども達の身近な所に常に絵本があるから。</p> <p>・園ではある程度、絵本が準備されていて自由に扱える環境である。</p> <p>・部屋では常に子どもの手の届く位置に自由に見れるようにしています。</p> <p>・本を読もうと思えば図書館もあるし、小学校にも本は置いてあるから。</p> <p>・身近に図書館や移動図書館などもあり、本をかりやすくなっているから。</p> <p>・学校には図書館があるし、地域にも市の図書館があるのでよいと思う。</p> <p>・学校などに図書館もあり、自由に読んだりする事が出来るので十分だと思う。</p> <p>・学校や、図書館など利用する所はあると思う。</p> <p>・図書館が充実している。(本の森号なども)</p> <p>小、中学校等でも保護者などの読み聞かせなどのボランティア活動。</p> <p>・読書をしようと思えば、学校や図書館などを利用し読書をしようとするが、問題は読書に興味をもたせることが大切ではないか。</p> <p>・本をお部屋におきたくさん本がある。</p>

	問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》
○	<p>・本に関わる機会は十分あると思うから。</p> <p>・たくさん本があるから。</p> <p>・図鑑や体についての本など、いろんな種類の本がたくさんあるから。</p> <p>・園では市の教材、園のバザーでたくさんの絵本や紙芝居があり、週に1度貸し出しをしています。又、毎日の読み聞かせと、月一度、ボランティアの方が読み聞かせに来てくれています。</p> <p>・園には、長く読み継がれているようなよい本がだいたいそろっていると思います。園で読み聞かせをしていますが毎週子どもが好きな本を借りて帰ってお家の人にも読んでもらえます。また園には月に一度読み聞かせのボランティアの方がみえます。読書環境としては十分なのではないかと思います。</p> <p>・自園図書が充実しているから。</p> <p>・本の数やジャンルも多いから。</p> <p>・部屋に設置していて、必ず読み聞かせている。</p> <p>・いろいろな種類の本を置いてある。</p> <p>・一日に数冊は読み聞かせをしている。</p> <p>・本を読む時間を作っているから。</p> <p>・一日数冊読んでいる。</p> <p>子どもの様子を見ながら本の内容を替えている。</p> <p>子どもの手の届く場所に絵本を置いている。</p> <p>・テレビを見る習慣がなく、絵本や紙芝居などを見る機会が多いから。</p> <p>・一日の生活の中で、子どもたちが自ら絵本を手に取り、読んでいる姿をよく目にするから。</p> <p>・テレビのない環境で、絵本、紙芝居も保育に沢山活用している。</p> <p>・集団なので、やぶってしまうので、手にとって、絵本をみれないから。</p> <p>・本を読むスペースがしっかりあるから。</p> <p>・本を読みやすいように、様々な本が子ども達の手の届きやすい場所にある。</p> <p>・色々な種類の本があるので自分で見て、開く本。読み聞かせると良い本があると思う。</p> <p>・本の情報、提供の機会は多いと思う。</p> <p>・各クラスの先生方が毎日1冊は読み聞かせてくれているので。又、子ども達がいつでも見れるよう(読めるよう)取り出しやすい位置に本棚を配置しています。</p> <p>・好きな本を自分で手にとれるので。</p> <p>・保育園内ではコーナーを設けているので、本に触れたい子どもたちはそうできると思う。</p> <p>・季節の本もたくさんあり、みんなで楽しんでます。</p> <p>・園では本の部屋があり、皆よく読んでいる。</p> <p>・こどもたちがいつでも本が見れるところに本を置いてあるし、お昼寝前に必ず読み聞かせをしている。</p> <p>・園では、たくさん本を置いていて、読み聞かせをしたりしている。</p> <p>・各クラスに本棚があり、1人1冊いきわたる状態。</p> <p>・絵本の読み聞かせが月1と、毎日保育に導入している。</p> <p>・出来る限り1日1冊は絵本を読むようにしているから。月に1回読み聞かせにも来てくれているから。</p> <p>・身近に本があり読み聞かせる機会や自分で読む機会が多いから。</p> <p>・たくさんの種類の本がいつでも読める環境がある。読み聞かせの時間も充実している。</p> <p>・図書館や学校、幼稚園などに読書する環境が整っていると思う。</p> <p>・様々な種類の絵本が園にあるから。</p> <p>・保育室やローカルの絵本コーナー、絵本のへやなどを設置し、先生達も、毎日必ず読むようにしている。</p> <p>・幼稚園では、十分な本も整っており、本の読み聞かせも出来ています。</p>

幼稚園・保育園の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

	問B:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》
○	<ul style="list-style-type: none"> ・園の中では、各年齢に合った本と種類と数量は整っており読み聞かせや子どもたちが自由に読める時間をとっています。 ・保育の中では、読み聞かせや読書の時間を組み込んでいます。 ・幼稚園では、各保育室に、たくさんの本が置いていて、いつでも自由に読めるので、十分だと思います。 ・子どもたちが自由に、手にとって読める環境が整っていますので十分です。 ・園では常に読書できる環境にあるから。 ・我が園においては週一の割合で本の貸出しをしていますので十分だと思います。 ・絵本を貸本して読書を楽しめているから。 ・小学校で定期的にかりるようにしてくれたり図書館での利用もしやすくて良いと思います。 <p>(小さな子どもがいるので長くは居られませんが…。)</p>
×	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせの際できるだけいろいろな絵本を読みたいと思うが自分の持っている本だと限りがある。又、図書館も人気の本は借りられている。 ・園では、読みきかせをしたり、絵本を見る姿もよく見られるが、家庭では、親が共働きで忙しく、なかなか本を読んでもあげる時間がとれないと、よく耳にするから。 ・移動図書があるとちょっと近くに感じるのでは。 ・なかなか図書館へ行くことがない人たちにとっては、移動図書館などがあるとちょっと身近になるのでは…。 ・ゲームや他の遊びも選択肢が多く、忙しい子が多い。 ・図書館が遠い。小学校などの図書室が充実していない。 ・買うと高い。 ・子ども達の年齢に合った本が少ない。 ・小さい子が読む本が少ない。 ・自分で好きな本を選んで読める環境が整っていない様に思う。 ・伝統的な昔からの絵本から最近流行の絵本までたくさんあるが昔からの絵本の内容など知らない子どもが多い。 ・新しい絵本や良い絵本もたくさんあるが、なかなかそれを子どもたちに、選んで読み聞かせてあげるのが難しい。 ・個人個人の環境や保護者の生活状態によって異なるとは思いますが、共働きの増加により、ゆっくりと(小さい頃から)親子で読書する時間のゆとりがないのでは?と感じます。 ・年齢の小さい子供達には読み聞かせなど今の保育の現状では十分に作る時間がなく、年齢が高くなると自分から本を読んだりするが家庭でも親が本を読んであげたりする習慣も大切で、中々現実にはむずかしい様です。 ・やぶいたり、大切に扱えないこともあるので、環境が関係していると思う。 ・本からではなく情報を得る方法が多すぎる。楽しむものが本以外で多くある。読む事でなく見る、聞く事で知事ができる。 ・童話の読み聞かせなどをすれば、もっと本に興味をもち読書環境も今以上によくなると思う。 ・保育園では毎日読み聞かせ、子ども達が選んだ本を読み合っている姿が見られる。けれども、家庭ごとで読書に ・家庭でゆっくり本を読む事がむずかしくなっている。 ・テレビ、ゲームなどがあり、読む機会が減っていると思います。 ・家庭での読書時間が少ない。 ・たくさんあるが、いろんな分野の本がほしい。 ・本の量は豊富ですが、毎日読むものなので、入れ替えを行わないと子どもが飽きてくると思う。 ・保育園にも絵本をたくさん用意しているが、やはり子どもの興味のある本は日々変わっていくので、子どもの興味にそった絵本を用意してあげたい。 ・読み終えた本はあまり興味を持たない子もいるので、随時新しい本も取り入れて(入れ換え)いった方がよいと思うから。

幼稚園・保育園の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

	問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? (理由)
×	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や園の近くにないこと。 ・自由に手にとり触れられる本が少ない。逆にたくさんありすぎて選びきれない(読み聞かせ)。 ・携帯電話やゲーム等が普及し本ばなれの子も達が増えた。 ・保育園にはたくさん本があるが、家には、本がないと思う。 ・小さい頃から、本が手元になく、読む習慣がついていない。 ・本を持ち帰り読んでいるけれど、絵本コーナーで本を見る子どもはほとんどいないから…。 ・市民図書館から遠い地域の子も達には移動図書館だけでは本を読む環境が十分だとは思えません。親に図書館へ連れていってもらえない子どもも多少なりともいるからです。 ・自分から進んで読むということがみられない子どももいるので。 ・本に触れる機会よりも、映像、ゲームなどの方が簡単に出来る環境にあるからだと思います。(社会全体・家庭も) ・毎日、1回～2回は読み聞かせをしていますが、いろんな本の種類やいろんな内容の本があるともっと良いのかなと思います。 ・保護者が忙しく働いていたり、テレビやゲームなどにふれる時間が長いから。 ・保育園では本、スペース、時間共揃っていますが、家庭では難しいのではないのでしょうか? ・保護者に興味を持ってない人がいれば子どもも興味を持たない。 ・本は沢山あるにこしたことはないのですが、まだ手元に欲しいです。 ・北欧の子も達に比べると、TVや、DVD、ゲーム等の時間が多く、読書による学ぶ時間がとても短いと思う。 ・今の子は、DVDとかTV中心のようだから。 ・園の本を貸し出すシステムがあれば、親にも子どもが何の本を好きかわかってもらえると思う。 ・自由に手に取って読める環境ではないから。 ・落ちついて読書をしたり読み聞かせをするための部屋、スペースが足りない。絵本の購入も十分ではない。 ・身近にある本は、何度も読んでいたり、数に限りがあり、いろいろな分野の本の中から、興味のある本を選択できていないと思います。 ・もっと本を好きになってもらいたいと思うから。 ・静かで落ち着いて読むことのできる空間を十分に作ることができていない。 ・たくさんのおよい本があるので、読む機会、場所、時間をつくって読んでほしい。 ・好きな本を好きな時に読んでもらえる環境が必要。 ・絵本や、本の数はまだ不十分。 ・好きな本など読んであげられないから。 ・家庭でも本をよめるよう保育園からの貸し出しができるようにできたらいい。 ・保育園、幼稚園むきの本の森号などがあれば良いと思う。月に1回園をまわってほしい。 ・子どもたちの興味あるものより～入って集中できるようにする。 ・園に置いている本だけでなく、季節感を感じ、楽しめるような種類の本がそろっていないと思うので。 ・保育園にも、移動図書館などが来てくれたら良いと思う。 ・支所にも、小さな子が座って本を読むスペースがほしい。 ・保護者が読書する事に興味を示し、静かな落ち着いた環境を整えたら少しは本を手にとる事、聞く事につながると思う。 ・テレビやゲーム等をしたり、忙しかったりと、読むことが少ない。 ・本よりも、ゲームやDVDにふれる機会の方が多く、またその状況が低年齢化しつつあるように思える。 ・安心院図書館はスペースが小さいので仕方ない所はあるが、机やイスなど読書や調べものなどができる場所がもう少しあれば…と思う。

幼稚園・保育園の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

	問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》
×	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビやDVDなどの普及で家庭で読書をする習慣がなくなっていると思います。 ・静かな空間が必要だと思う。TVやビデオ、DVDなどがついている時間が多い。 ・こちらが意識して読書する時間を設けていないから。 ・読みきかせの機会が十分でないと思う。 ・子ども達はまず、母親の読み聞かせが大切なのではないかと感じる。働く母はなかなかゆっくり読み聞かせをする時間がもてない。 ・大人の読書と子どもの読書の目的がちがいます。子どもの読書は、読み聞かせてあげ、同じ本でも、本人が気に入ったもの親が良いと選んだものを何度も、毎日、時間を決めて読んであげるのが子どもの読書です。大人の意識があり子供の「読書」につながると思います。 ・絵本などは沢山あり、子どもたちも選んで読んでいるが、椅子や机について読むくせがついておらず、きちんと落ち着いて読めていない。 ・仕事で忙しい母親が、子どもと一緒に本を読む時間を家でとれないと思う。 ・もっとたくさんの本に触れる機会が持てるとういと思う。 ・親の感心が薄い様に思う。 ・本の入れ替えがなく(ほとんど)レパートリーが少ない。本の種類が少ない。 ・本を読むようなゆったりした時間がない。 ・子どもが自由に読める場所があまりないかも。幼稚園、小学校に行けばあるが…。 ・読み聞かせは十分に実施できているが、自分達で読書をするという習慣が身につけていない。 ・家庭で絵本をたくさん読む子と読まない子の差がある。 ・もっと本にふれあう機会があるとよいと思う。 ・読む家庭と読まない家庭があるから。 ・保育園で毎日読んで歌や劇につなげて好きになるが、学校で古い本ばかりで読む気がなくなると言っていた。 ・もっといろんな種類の本を紹介してあげられたら、と思います。 ・読み聞かせの時間が少ない。 ・子どもたち自身が読みたいと思っている本を教室に置くことが十分にはできないから。子どももどんな本があるかなどの情報を得る場があまりないと思うからです。 ・本はたくさんあるが、読む時間を作っていないから。 ・もっと本がほしい。本をおくスペースもほしい。
両方	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園では、たくさん本があるが、家庭の中では、あまり本がないように思うから。
真ん中	<ul style="list-style-type: none"> ・園での貸し出し、身近に絵本をとり出す事のできる環境は整っている、が、家庭での様子はいまひとつ把握できていない。
どちらとも いえない	<ul style="list-style-type: none"> ・園には十分な絵本があります。が、家庭ではどうかと言うと…わかりません。
なし	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の部屋を設け、たくさん本は揃っている。が、利用は少ないように思う。各クラスでは子どもの興味をもちそうな本を準備し、自由にふれることができるようにしている。 ・図書館を利用していだけでもかなりよいと思います。職員も、夕方や休日を利用して本を借りて子ども達に読みきかせをしています。 ・年齢に合った絵本を準備し、子どもたちがいつでも見れるようにはしている。 ・本を読むだけの部屋があればと思う。 ・絵本、本を通していろんな体験をしてほしいし、又、それが実際体験できた時のよろこび等も知ってほしい。生活環境を整える意識(?)づけも必要かもしれません。 ・冷暖房があり、幼児用スペースがあり、使い易い。

幼稚園・保育園の先生

問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
・毎日絵本の読み聞かせをし、興味・関心をもてるようにする。子どもの手に届く場所に絵本を置く。 個人によって好みが違うので種々の絵本を用意しておく。
・回りの大人が楽しそうに絵本を読んで、「絵本は面白い」ということを子どもに教えること。
・大人がたくさん本を読んであげることで、本好きになると思うので、子どもに、たくさん本を読んであげることが大切なのではないでしょうか？
・子どもが興味を持っている内容の本を選んだり、大人と一緒に本を楽しんであげれば、子どもも本に興味を示し、読むようになると思います。
・幼児期からの読みきかせ等、親のかかわりが大切だと思います。ゲーム時間も短めに。
・読み聞かせの機会を多くもつ。無理に読ませるのではなく、自然に本に興味を持ち、楽しく本を読めるような環境をつくる。
・親子で一緒に絵本を見たりする時間を作ると、触れ合いを持てたりして、子どもも楽しみになると思う。
・大人がもっと本を読むべきかなと思います。本を読む姿を子どもに見せる・・・。
・本の読み聞かせを毎日の習慣にし、子どもたちに本を好きになってもらう。
・赤ちゃんの時から毎日、5分でもひざにのせて一緒に見たり、眠る前に読む習慣をつけてあげたいと思います。
・周囲の大人が図書館など本のある所へ足を向ける。
・夕方や休日を利用して本を借りて子ども達に読みきかせをしています。← 左記のようなことを通して、きっかけになる、知ってる本、きいたことがある本など興味のきっかけになる。
・まず、色々な本に触れることが大事だと思う。本が面白いと思えばおのずと本を読むようになると思う。
・保護者も本との関わりを増やすようにすれば良いと思う。
・幼い頃から読みきかせなどを通して、本に親しむ習慣をつけるのがよいと思います。又、家庭環境が一番大事だと思います。
・読み聞かせ。わかりやすく本の紹介をする。
・子ども達が、どのような物に、興味、関心を示しているかを知り、それに合った本を準備する。
・移動図書があると身近に感じ、手に取って選ばれるともっと読むようになるのでは。
・小さい頃より多くの本と出会うきっかけをつくり、あったかい環境づくりをしていきたい。
・絵本コーナーを設け、子どもたちが自ら絵本を選べるようにする。保育士がたくさん読み聞かせを行い小さい頃から聞いたり、見たりの本と親しむ時間を作るといいのでは。
・静かな落ちつく環境を作り、すぐ手にとれる所に想像力のふくらむ本があると良いと思う。
・小さい頃から、絵本に接する機会をたくさんもつこと。親や保育者が好きでないと、たくさん絵本に出会うことが少ないと思う。
・家庭での環境だと思います。
・本に親しみ、家庭でも決まって読んであげるようにする。家族で本の関わりを持つこと。
・身近な学校図書館の充実。
・図書館を身近なものにする。
・家庭や学校などで本の読み聞かせなどして本の楽しさを伝えていく。
・各クラスで興味・関心をもてる本を中心に繰り返し読み聞かせたりすることで、冊数が増えていくのでは。
・子ども達の目につく場所、目の高さの本を置きいつでも読める(見れる)ようにする。
・一緒に見たり、読んだりする。読み聞かせの時間を多く作る。
・毎日本に接するよう、子どもたちに読んであげる。本の楽しさが、わかるように導く。
・おはなし会の場をたくさん設け本の楽しさ大切さを伝える。
・読みきかせなどの習慣的に行うなど。

幼稚園・保育園の先生

問9: どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
・たくさんの楽しい絵本に出会わせてあげたり、家庭でも、ゆっくり絵本を読む時間がとれると良いと思う。
・物心ついた頃から色々な本に出会い、慣れ親しませる環境をつくるのが大切ではないでしょうか？
・本が楽しい、おもしろいと興味を持つ事が大切だと思います。そのために保育園では時間のある時読み聞かせをして、子供達が本は楽しい、おもしろい、読みたい見たいと思うように興味をもたせてあげる事が一番大切だと思います。
・本のおもしろさを伝えていき、興味を持たせていく。
・絵本コーナーを作り、ゆっくり座って見ることで本をもっと身近に感じられ好きになってくれるように思う。
・テレビ、ゲーム漬けにしないようにする。
・読書の環境時間などの配慮を周囲の大人が整える必要があると思います。
・家庭や、学校などで、絵本の読み聞かせ時間を設けると良い。
・家庭での読み聞かせの大切さを保護者に伝えていく。
良い本をクラスだより等で伝えて、年齢に合った絵本を知らせる。
・学校だけでなく、家庭でも本に接する事ができる環境を整えてあげる。
・大人が読んであげたり、読む環境を作ってあげる。
・本を読む時間を、1日の中に、取り入れていく。
・本を読む機会を作る。
・毎日、たくさんの本を読んであげること。(園だけでなく家庭でも時間がある時に読んであげること) 身近に本を借りたり利用しやすいところがあるということ。
・親に本を読む意識を、うえつけて、沢山読み聞かせてあげるようにしたら良いのではないのでしょうか？
・問8と重複する → 絵本の部屋を設け、たくさん本は揃っている。が、利用は少ないように思う。各クラスでは子どもの興味をもちそうな本を準備し、自由にふれることができるようにしている。
・毎日、気長に絵本に触れさせ興味を持たせることだと思います。
・小さい頃より、本を読む環境を整える。
・読み聞かせなど。
・小さい頃から絵本に触れていくことかなと思います。又、色々な絵本に出会って興味をもつことが大切だと思います。
・朝の10分間読書を維持しつづけることがよいと思います。
・デパートの子どもの遊び場にも遊具だけではなく本を多めに置き、それは図書館が定期的に入れかえたり。 公の場で立体的な絵本などの読み聞かせをする。
・親が子どもの前で意識的に読書する姿を見せていく。
・身近(歩いて行ける所)に図書館があると、利用しやすく本を読む機会が増えると思います。
・親子で一緒に読む時間をつくる。親が本を読む姿勢を見せる。興味を持つことばかけをする。
・本と触れ合う機会を増やし、まず本の楽しさを知らせる。関心を持たせる。
・本を読むことの楽しさを知ってもらうが一番。そのためには大人の見方・主観で子どもに「この本を読むと良い」「子の本を読んではいけない」と読書内容を強制しないようにすることが大切だと思う。その点ではいまだに漫画は「本」のうちに入らないという偏見があるのは残念。(私も子どもの頃に科学漫画を読んで読書の楽しさを知ったのでまた、読書感想文の強要も逆効果だと思う。
・いろんな種類の本をたくさんそろえてもらう。
・本を読む静かな空間を作ってあげる。
・子どもたちに、本を読んであげ、本に興味をもってもらう。
・家庭でも親子で本を読む時間をもつ様にしていけば良いと思います。
・一日の中に本を読むことを自然に習慣づける。

幼稚園・保育園の先生

<p>問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・就寝前の読み聞かせの習慣。 ・いつも身近に良書があり、紹介する大人がいることが大切だと思う。 ・読み聞かせを通して、本に興味を持たせること。 ・小さい頃よりの読み聞かせ。親(大人)が本を読む姿を見せる。本屋、図書館を利用し、自分で触れ、選ぶ機会をたくさんつくる。 ・子どもは本を読むことは好きだと思います。本を読む機会を継続して与えることができれば良いと思います。 ・まずは大人が読み聞かせ、子どもに絵本の面白さを伝えていくことが大切だと思います。 ・大人が読んでいる姿を子どもに見せる。大人がたくさん本の読み聞かせをしてあげる。 ・周囲の環境(親が楽しんで読んでくれるetc. ...)だと思います。「楽しい」と思えば自分から興味を持つと思います。 ・子どもたちが、いつでも好きなときに本を探し読める環境をつくる。いろんな絵本をそろえる。子どもたちが理解できる、絵本の紹介をする。 ・本のおもしろさや環境をより近いものにする方が良いと思います。 ・子どもの興味がどのようなものに向いているかを見つけたり、わからない事があれば、一緒に本を見て探す等、本を身近なものと考えられるように働きかけていくことが大切だと思います。 ・身近な周囲の人達の姿勢が大切だと思う。 ・園だけでなく、家でも親子で読む時間があれば本に興味を持ち本好きになると思います。 ・保育園のころから読み聞かせなど、本に親しみを持つように関わり、本に興味をもつようにしていく。 ・小さい頃から本に親しみを持てるように読み聞かせなどしていく中で、子どもたちが楽しめるような読み方や内容を選んでいく。 ・本を見る時間を作る。楽しく見れるよーに読んであげる。 ・回りの大人が本を読む姿を見せる。本の感想等話して聞かせる。 ・子どもたちが楽しくなるような読み聞かせをしたりしてあげる。 ・子どもが興味を持てるような内容のものや、飛び出す絵本などを読めば楽しくなって、「もっと本を読みたい」と思うと思う。 ・読書に親しむ機会を与えてあげることが大切だと思います。 ・本のおもしろさをこれからも伝える活動をする。少しでも読書のための時間を作る。 ・良い本の紹介等をする。 ・読書をしようとする環境を作ること。家庭から読書に興味をもたせることが大切ではないか。家庭や身近に本がなければ子ども達も興味を持たないと思う。 ・家庭で本を読む機会がふえるとよい。 ・親と子どもが過ごせる時間が増えれば、本への関心もできてくると思います。 ・1日1冊は、本を読むようにする。 ・その子が興味を持つ本に出会えば読みたいと思うと思う。 ・まずは、親が読書好きになること。小さい頃より、身近に本をおいておき、本と親しむ環境を作ることだと思います。 ・大人の私たちが本を読む姿を見せたり、読んであげたりする機会を多くすれば良いのではないのでしょうか。(本の内容も考え、子どもの興味を持っているような本を選んで読んであげてはどうでしょうか。 ・子どもが好きな本を幼少時から大人がくりかえしくりかえし読んでやり、本は楽しいおもしろいという感覚を身につけるようにすべきだと思います。さらに大人も自分の好きな本に熱中して楽しむことではないのでしょうか。本を楽しむには想像力が必要ですので、やはり、幼児期の読書体験が重要なのですね。

幼稚園・保育園の先生

問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
・読み聞かせをしていき、面白かった、楽しかったと思うような興味をひくような絵本に出会っていけば、本が好きになり、本を読む時間をもてば、本を読むようになるのでは。良い本をススメてみるのも良いと思う。
・しかけ絵本がたくさんあると楽しくなって読むようになるのではと思います。
・子ども(低年齢)の頃から、本の読み聞かせをし、親子の触れ合いから始まりいつでも、目に入り、手の届くところにある環境をつくってあげると良いと思います。又、本の活用の様子を実像として、示す(大人が)。
園では、読み聞かせの時間を、毎日、取り入れ本に触れる機会をつくるようにしています。
・子どもたちが、興味がわく本や読みたくなるような本を用意しておく。本を見る習慣も必要なのかなと思います。
・親と一緒に一日に数十分からでも本を読み聞かせしたり、本にふれる機会を作るとよいと思いますが、私自身も出来ていません。
・分かりません。難しいです。小さい時に毎日読み聞かせをしてから眠るのが日課で、子どもも、それを楽しみにしていましたが、それが本を読む子につながる訳ではありませんでした。その子の持っているものがあるような気がします。
・読み聞かせ以外にも何か本に興味を持てるイベントをしたり、保護者が興味を持てるような事をする。
・読みきかせをしたり、子ども達が興味を持っている本からみせるようにする。
・子どもが興味をもちそうな本を紹介したり、身近なところに置く。
・笑いあり、目をひくような絵など描かれていると子どもの興味を得られると思います。
・家庭、幼、保、小で、1時間くらい本とふれあう時間を、毎日設けて、習慣づけたら良いのではないと思う。
・親から先に本好きにする。
・簡単な本から始めて、おもしろさを伝えていけば良いと思う。
・学校などではもちろん、家でも本を読む時間を作れるようになれば良いと思う。
・絵本の部屋など静かな環境で、自由に選べる様に表紙が見えるよう並べておく。
・なるべく本を買うようにする。
・本に興味を持てるような環境づくりをしていくようにする。
・小さい子どもの頃から本を読み聞かせる。本と触れ合う環境を作る。
・様々な絵本に触れ、大好きな大人の人に読んでもらうことが大切ではないかと思います。
・すぐに本が読めるような環境を作る。
・落ちついてよめるかんきょうづくり。興味を抱かせる環境づくり。
・子どもの興味のある絵本を置く。読み聞かせ。
・園の読書環境をよくしたり、保三者にもっと積極的に絵本の貸し出しを呼びかける。
移動図書館を利用。図書館の学校向けサービスの利用。
・読み聞かせなどを通して、本に興味を持ったり、大人と一緒に本を読む時間を作る。興味のある本に触れられる環境を作る。
・小さい頃(乳児期)から読み聞かせや、自分で読めるようになって、親が読んであげられる時間をつくるようにするとよい。
・子どもの興味に合った本を用意する。読書の時間を設ける。まずは大人が、読書を楽しむ。
・色々な種類の絵本を読み聞かせし、イメージを皆で共有する。楽しさを感じてもらえるよう工夫する(素話、絵に描く、表現遊びなども含め)
すぐに手に取れる所に絵本棚を設置し、いつでも読める環境作りをする
my book
読書の時間を作る。

幼稚園・保育園の先生

問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？

- 定期的に入れ替える。
- ・大人が読み聞かせをしたりよい本を選び興味づけをする
- ・絵本をたくさん読んであげる。
- ・絵本をたくさん読み聞かせていく。
- ・読み聞かせをいっぱいしてあげ、好きな絵本がいつでも手に取れるような環境をつくる。
- ・興味を持てるように配慮する。
- ・大人が自分自身も楽しんで本を読んであげることが大切だと思う。
- ・保育者が毎日絵本を読み、様々な話を楽しめる環境をつくる。
- ・もっと身近に本を手取る場所があるとよい。
- ・読み聞かせなどを通し、本の大切さやおもしろさ楽しさなどを伝えていく。好きな本を見つける。
- ・読み聞かせを通して、絵本の大切さを伝えていく。
- ・幼少期から大人が子供に読んであげる。実体験と本を関連づけて、本に関心をもってもらう。
- ・本の楽しさを伝えていく。学校や保育園などでも。
- ・様々な本を読んであげる。本との出会いの機会をつくる。
- ・保育士が、いろんな本を、もっとたくさん読んであげると、もっと好きになってくれると思います。
- ・親子で一緒に過ごす時間があれば。
- ・読みきかせの機会を多く持ったり、大人も一緒になって本を読む時間を過ごす。増やす。(共有する)
- ・年齢に合った本を、周りの大人と一緒にみたり、よみ聞かせし、興味をもってもらう。
- ・遊びの中に取り入れたり、午睡のときに読んだり、家庭でも本を読んでいくと、興味が出て読むのでは。
- ・たくさん楽しい興味のある本を読みきかせていく。
- ・各学校、施設に行き講演会をしたり、本の楽しさをわかる様な読み聞かせ会などを開催する。又、幼児期からの本の楽しさを知ってもらうために保育園、幼稚園などにも何か出来ればと思う。
- ・親子で共有の読書時間をもつ等。
- ・移動図書館がもっと多く出来るようにして頂きたいです。
- ・読みたいと思う本が手に取りやすいと身近に感じると思う。写真やイラストでイメージしやすく感じたり、一緒に読みながら共感していくことが大切だと思う。
- ・大人が常に本の読みきかせをする。子どもの手の届くところ(側)に本をおいておく。
- ・5~10分間でも静かに本を見たり読む環境を整える必要がある。小さい頃より、習慣を身につけさせていくようにしたい。
- ・本を見たり、読んだりすることは、どの子も好きなので、時々はその時期の流行をとり入れた本に入れ替えるなどの工夫があると、より、関心が高まるのかと思います。
- ・読み聞かせ。テレビを見ない(なくす)。
- ・本だけに集中できるような空間を作ってあげるとよいと思う。
- ・落ち着いた環境、興味を持つような本を準備する。
- ・家庭での読み聞かせ等、本に興味をもたせるように心がける。
- ・親や学校、保育園の先生が、読み聞かせの時間をつくってあげたらよいと思う。
- ・本を(子どもに)読んであげたり、一緒に、読書をする時間・空間を設け、大切にする。
- ・年齢や季節に合ったもの、行事(イベント)など、子ども達が身近に感じられる素材をもとにした絵本を、私達自身が理解し楽しんで読み聞かせをすれば自然と本に興味を持ってくれるのでは・・・と思います。
- ・まずは母親が図書館へ足を運ぶような、イベント、環境作りをすれば、図書館へ行く機会も増えるのではないだろうか。希望者に年齢に応じた本のリストを配布する。季節毎のコーナーをつくる。

幼稚園・保育園の先生

問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？

- ・小さい頃から沢山絵本や図鑑にふれる機会をつくり、本に親しんでいく。大人が読み聞かせをしたり、また大人自身も生活の中で本にふれ、読書の面白さ、楽しさを子ども達へ見せたり、知らせたりしていけると良いと思う。
- ・日頃から本に親しんでおくとよいと思う。
- ・子どもが小さい時からの本に親しみをもってすごすこと。
- ・いつも絵本や本を読んで聞かせてあげられたらと思います。
- ・読み聞かせなどの時間を増やして、本に触れる機会を作るようにすれば少しずつでも……と願います。
- ・絵本などに小さい頃から親しむ。(親が読んであげたり一緒に読んだり等の環境があれば、自然と好きになるのでは……と思います。)
- ・子どもたちと一緒に本を見る(読む)時間を設ける。子どもたちにたくさん本を読む。
- ・読み聞かせをしたり、いろいろな体験をさせる。
- ・いろんなおはなしをきけてというところからスタートすると思いますが、まずよろこんでおはなしが聞くことのできる環境かな。
- ・本に大人が親しみ、環境をととのえる。
- ・周りにいる大人が読み聞かせをしたり一緒に見たりしていき、本を見る事に興味を持たせたり、好きになるように関わっていく。
- ・一緒に読んだり、読み聞かせをする。
- ・家庭ではTVを消す時間が増えると読むと思う。
- ・本と一緒に読んだり、読み聞かせをしてあげる。
- ・家庭の方でも寝る前にでも本を読んであげたらよいと思う。
- ・家庭で、親自身が本を読んだり、小さい子には、1日1冊は本を読んであげたりする。
- ・保ご者、保育者(教育者)が、楽しみながら読み聞かせをする。
- ・自分達が選び手にとり、自分で読む時間をつくる。
- ・絵本の読み聞かせなどをし、本に興味を持ってもらうようにする。
- ・読書する時間を設け、習慣できる。大人が読み聞かせをできるだけし、本に興味をもてるようにする。
- ・保育士、保護者ができるだけ本を読み聞かせる。
- ・まわりの大人達が色々な本を読んだりする時間を設けるといいかな。
- ・小さい頃から本の楽しさを伝える。いつも本に親しめるように身近なところに本のある環境を作る。
- ・常に日に何回か読み聞かせの時間を設ける。
- ・保育士がすすんで読む。
- ・日常の中に本がある環境をつくる。
- ・大人の読書と子どもの読書の目的はちがいます。子どもの読書は、読み聞かせてあげ、同じ本でも、本人が気に入ったもの親が良いと選んだものを何度も、毎日、時間を決めて読んであげるのが子どもの読書です。大人の意識があり子供の「読書」につながると思います。← 左記の様に、一番は親が時間を決めて毎日、そして、その時間が、また、親子のコミュニケーションの時間であり、「感受性」が育ち「本」という認識がつくのだと思います。毎日、「ごはんを食べるように」……短時間でものくり返し……だと思っています。
- ・読み聞かせの時間を多くし、本のおもしろさを子どもに知ってもらう。
- ・小さい頃から本に触れ本のある生活が習慣づいていくとよいと思います。
- ・親子で一緒に読んだり、聞いたりして過ごし、楽しい経験を積み重ねていくこと。
- ・本の部屋を作ったり、入れ替えをこまめにして子供たちに本に興味を持たせる。
- ・読み聞かせや観劇に参加したり寝る前など空時間には読んであげる。
- ・読み聞かせの時間や読書の時間をつくってあげる。

幼稚園・保育園の先生

問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
・本を好きになるように、たくさんの本を読みきかせ本の楽しさを気づかせる。
・楽しく本にふれあえる環境があるといい。
・毎日の読み聞かせて本に興味を持ってもらう。
・興味・関心のあることと、リンクさせ、環境を整えてあげる。
・読書時間をつくる。
・読み聞かせや、寝る時に本を読んでやるなど。
・読み聞かせなどたくさん行い、子どもたちに本の楽しさを伝えていくことが大切だと思う。
・本の楽しさを、わかってもらうために、少しでも多くの絵本を読んで聞かせ、そばに置いて親しんでもらう。 またおもしろい絵本や興味をもつような本の内容をダイジェストで伝えてやる。
・本の大切さや本によって子ども達のよい成長を促すことができることをもっとアピールしていきたい。
・いつも手のとどくところに本があるとよいと思う。小さい子は大人に余裕がないと難しい。
・やはり家などでの読み聞かせかと思います。
・テレビを消す。ゲームを買わない。親に本のすばらしさを伝える。
・小さい頃から本にふれる。
・本を読むことの魅力や本の世界観を伝えていく。
・いろんな本に出会わせるきっかけづくりをしてあげる。
・本を身近に感じ、本や絵本の物語を楽しめたり、その世界にひたる事のできる心の成長や余裕ももてる環境。小さい頃から身近なところに本(絵本)のある環境が必要だと思う。
・小さい時から親が絵本を見せたり、読み聞かせをする事で、子どもが自然と本になじみ興味を持つようになると思う。又持たせるように、毎日習慣づける事が大事だと思う。
・子どもたちが自分から進んで読むような本をおいたら良いと思います。(楽しいと思えるような)
・家庭での読書に対する意識の向上が必要だと思います。
・保護者が関心を持って読み聞かせを日常的に行う。
・各家庭での取り組みが必要だと思います。
・子どもの年齢に応じて、興味のある本を常に子どもの手の届く所に置いておき、周りの大人が読んであげる環境を作ることも大事だと思います。
図書館を大人が、いつも利用する習慣がつけば、子どもも自然と本が好きになると思います。
・小さな頃から、絵本に親しむことが大事だと思います。その為には、まず両親が本を好きになることが大切かなと思います。愛情のこもった絵本の読み聞かせが(小さい時の)今後の読書へとつながるのではと思います。
・子どもたちにたくさん読み聞かせをして、絵本又は本に興味を持てるようにするといいいと思いました。
・毎日1冊でも良いので、関わる時間をつくる。
・保育者が読み聞かせを定期的に行う。
・読む習慣をつけさせる。
・日頃からの習慣づけ。
・幼稚園では毎日降園前に絵本、紙芝居を担当が読みきかせをしています。このような取り組みが子ども達が自然に本に親しむことに継(←繋?)がると思います。
・本に触れる機会を増し、周りの大人が見本となって本を読む事だと思います。
・やはり周囲が親と一緒に読んで(幼児の場合)する習慣をつける事が大切かなと思います。
・保護者の読みきかせの時間を増やすこと。
・眠る前や家にいる時にもっとたくさん本をよんであげられたらいいなあと思います…。

小学校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

BM 巡回	問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? (理由)
有	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の時間をつくっている。 ・図書館や書店でたくさんの本の紹介や案内をして、子どもにとっての読書環境は、とても十分だと思います。 ・本校はけっこう本が多い。 ・学校でも読書の時間を取り入れ各家庭でも読書の時間を取り入れる事も出来るから。 ・学校の図書室に本が沢山ある。本の森号が学校に来てくれる。 蔵書も多く(市民図書館・学校図書館)、読書スペースも広いから。 ・学校で、新刊図書を購入していただいたり宇佐市の移動図書館や、図書館の利用ができるので、よい。 ・地域の方から寄贈が多いので本がたくさんある。 ・図書室に本がたくさんある。 ・本校は図書に恵まれているし、移動図書館も利用できるから。 ・物理的には恵まれていると思う。 ・学校図書だけでなく、移動図書館でも利用できるから…。 ・今年度新規購入が多かったため。 ・本を選べる。 ・学校図書館の冊数も増え、本の森号も定期的に来校しているので。 ・本はたくさん身近にある。図書室にも、ほんの森号にも。 ・図書室の本及びほんの森号の活用により本校児童の読書環境は恵まれていると思う。 ・学校においては、本校は保護者の協力で団体貸出を各クラス利用している。図書室の本、学級文庫と合わせてたくさん本から本をえらぶことがでている。 ・教室、図書室に本を十分置いているから。 ・本の冊数には恵まれていると思うし、読み聞かせグループの人も来てくれている。 ・校内で今年たくさん本を購入できたため。加えて、本のゆめ号が来てくれるので。 ・図書室も静かな固定教室であり、本の冊数も目標値に達している。 ・安心院小学校区の子どもたちは、めぐまれていると思う。一方で、中心部になかなか行けない子どもたちは、「学校」が、ほほすべての読書環境になってしまうと思う。 ・本の種類も沢山あるから。 ・数年前に比べて、かなり充実してきたと思う。 ・学校の図書室も本がたくさんそろっている。 ・低学年、中学年、高学年用に仕分けしていて分かりやすく知らべやすくしている(調べ?) ・図書室の蔵書も、充実しており、本の夢号でも借りられる。 ・十分とは言い難いが、町立図書館、本の夢号などわりと身近なところに読書できる環境がある。 ・読書をする設備は十分にあると思う。 ・図書館コーディネーターの方や、図書の先生方が、きれいに見やすく整理整頓してくれたから。 (コーナー別にわかりやすくなった。)
無	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書時間を設けている。そのためか、北小の子供は自発的に本を手にとっていると思う。 ・毎年新刊本が入るので十分だと思います。 ・PTAの予算で学年ごとに割り当てて、毎年購入できているため。 ・学校では、保護者の方々のご協力により、図書室の本だけでなく、団体貸出の本も読むことができています。 様々な本にふれることができ、良いと思います。 ・毎月、団体貸出でいろいろ読める。ただ内容にかたよりのあるのが気になる。 ・月に2~3回市民図書館の団体貸出を利用しており、朝読書の時間によく、本を読んでいる。

小学校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

BM 巡回	問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? (理由)	
無	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティアである「おはなしや」さんや、6年生が1年生に読み聞かせ等の良い環境が整っている。 ・毎月図書館を利用させていただいている。 ・図書館が近くにあり、月1回はみんな2冊借りられる。 ・図書館が近くにあり、いつでも利用できる環境にあるから。 ・毎月、学年ごとに利用できているから。 ・学校(駅館小)では、市民図書館を毎月利用させていただき、たくさんの本と出会うことができる。でも家庭では? ・近くに図書館があり、容易に行くことができる。 ・市民図書館から毎月本をかりてきているものと、学校図書館、学級図書も子どもたちが読める本があり、環境はある程度整っていると思う。 ・図書館が近いので。 ・学校の近くに図書館があるので。欲を出せば、校内(教室や図書館)にもっと本があればうれしい。 ・団体貸出をしてもらっていたり、教室の横に図書室の本も置いていたり、すぐに本を読める環境にある。 ・教室にも本があるし、図書館も利用すればたくさんの本があるから。 ・毎月、市民図書館の本の借り入れがあり、読む本が充実している。
有	<small>どらんか といえは ○</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・週に1度本の森号が寄ってくれ、1人10冊と多くかして頂けるため。
有	×	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか学校にも、本の数が少ないので、予算化されるといい。お家の方も本を購入するのも、本が1冊高いので読む機会が少ないと思う。 ・学校図書館に調べ学習ができるだけの十分な資料がない。(古い) ・本がすくない。 ・移動としゃかんはありがたいが、やはりBestは学校にすぐ手にとってよめるところにあることすなわち学校に本がすくない。 ・朝読書の時間を設けて読んでいるが学校にある本の数が十分でない。 ・調べ学習等にもっと有効にしていきたいから。 ・種類や量、読むための環境が不十分。 ・家庭での読書環境に個人差がある。 ・もっと新しい本を増やす必要がある。 ・本の冊数不足。 ・学校図書館の充実が不十分。 ・学校や家庭にもっと多くの、いろんな分野の本が欲しい。家庭で読書する環境が十分といえない。 ・読書の時間が十分とれていない。 ・子ども達が進みたいような図書室環境づくりの工夫が必要。 ・本の冊数が少ない。新刊が少ない。 ・本校は比較的図書(新しいもの)が多いが、その管理整頓等職員の力では不十分。司書さんに常時(あるいは1週間に1回)来ていただき図書室の整備、整美、環境づくり等していただけたら助かります。 ・家庭が落ちついてない子たちがいる。 ・読書する本が身近に少ない。読書する周囲の雰囲気や時間があまりない。 ・家庭の読書環境。学校での図書館の整備。図書館司書の不在。 ・本の冊数が少ない(学校) ・図書室がない。 ・蔵書が少ない。(図書室) ・図書室や図書コーナーがハード、ソフト面で、ととのっていない。

小学校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

BM 巡回	問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》
有	<p>×</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の本は古い本も多くあり、冊数がまだ少ないと感じる。 ・学校の図書室に蔵書が少ない。学校に司書がない。本の森号の回る回数が少ない。 ・市民図書館まで遠いと本を借りようと思わない。 ・色々な情報があふれていて(TV、インターネット等)選択肢がありすぎると楽な方に行ってしまう。 ・校舎が古く、図書室とパソコン室を一緒の部屋として使っているから。 ・校内図書室に、本を読むスペースがない。 ・子どもたちが落ち着いて本が読める図書室の環境整備がなされていない。 ・パソコン室といっしょになっている。←先生方で(図書担当の先生方中心に)きれいに整備されレイアウトされているが。 ・学校の図書室の蔵書が少ない。 ・ほんの森号はありがたいが、やはり月1回では少ない。市民図書館が遠いと環境がよいとはいえない。 ・学校の図書が増えたのはよかった。しかし、家庭で読書をする習慣があまりないから。 ・なかなか時間の確保ができないから。 ・電算化して管理できていない。司書がない。 ・学校に専門の司書がない。 ・本はかなりの数揃っているが、図書室を利用するよう、指導が足りない、 のでは? ・学校でも家庭でも時間の保障ができていない。好きな子は、読むが好きではない子が読むような時間保障がある。 ・学校図書が古い。学級文庫が少ない。図書館が遠い。家の人もあまり本を読まない。書店にも新しく、売れる本しかない。 ・環境は十分だが、常に指導できる状況でないため、楽しみ方が分からない様である。 ・司書教諭の配置がないし、本が十分にそろっているといえないから。 ・学校の図書館の蔵書数はかぎられている。ウサノビアは遠い。 ・本の冊数と、司書教諭の不在。 ・本、少ない。 ・予算面です。 ・家庭で読む時間がなくなった。 ・もっと新しい本を読ませてあげたい。 ・図書室の環境整備が整っていない。 ・学校の多忙さから、図書室等の整備を行なっているが十分ではないと思う。 ・大切だと分かっているけど、十分な時間は取れていない様に感じます。 ・家庭によって読書環境が大きくことなるため。 ・子どもがいつでも、どこでも気軽に本を借りられる環境を整える。 ・専任司書がない。 ・図書室の本が少ない。親が本を読まない。 ・社会体育や、テレビ、ゲームなどに時間をとられ読書につきやす時間が少なくなっている。 ・流行の本には関心があるが、古典の良いものに出会う機会が少ないと思う。 ・いろんなジャンルの本がたくさんあるとよい。 ・古い本が多く、読む気持ちがたかまらない。 ・教室内に読みたくなるような本を、十分に置いていないので。 ・図書関連の予算が少ない。専用の司書教諭がない。 ・学校図書館の本の冊数、図書室の環境が不十分。

小学校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

BM 巡回	問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》
有	<p>×</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書以外のものに感心(←関心?)がいつてしまう。テレビ、ゲーム。 ・学校の図書館はゆっくり読めない。 ・年間読書予算が少なすぎる。本の森号の1ヶ月の回数が少ない。 ・古い本が多い。 ・学校の本の冊数が少ない。本が古い。 ・各校の図書費がまちまちで、充分な本、読書意欲をそそる新しい本が必要なほど買えないことがある。 ・新しい本が少ない。(学校) ・図書室の整備(特にクーラーと広さ)。 ・新しい本が少ない。図書室が狭い。 ・貸し出しができていない。 ・まわりの大人など本を読むようなことをモデルとしてしめすことができていない。 ・学校、家庭で、じっくり読書に取り組むよゆうがないように感じるから。 ・時間の確保が難しい。 ・学校に司書教諭を配置してほしい。 ・時間の確保と本の充実(読みたい時に読みたい本がすぐ手にとれる環境づくり)。 ・学校に、図書館司書がないので、図書室の環境整備等が十分でない。家庭での読書習慣が十分身につけていない。 ・地域差があると思う。 ・図書費が少ない。図書室の環境整備。 ・学校に十分な図書資料がない。専任で図書館やその利用促進にかかわる人がいない。 公共図書館と連携を図りたくても、その時間がなかなか確保できない。 ・図書室がない。 ・時間と、本の冊数、が、十分でない。 ・担当が他の仕事もあり、司書さんのようにきめ細かな環境作りができない。 ・時間の確保が十分ではない。 ・学校には十分な数の図書を置くことができない。家庭では時間の確保が難しい。 ・本の夢号は、周辺部の学校にとってとてもありがたい。 ・本の種類の幅をもう少し広くして1年～6年まで皆が借りに行ける様にして欲しいです。 ・司書がないので、自分の好きな本ばかり読んでしまうと思います。 ・子どもが読みたいと思う本が少ないと思う。 ・本の数がまだまだだと思っています。 ・本が充分ではないめ。 ・学校の図書館に新しい本(読み物)が少ない。 公立図書館が遠い。 大人があまり本を読まない(家庭)。 ・図書室等を積極的に利用する姿がみられないので、本に興味関心が持てる様な図書室の準備がいると感じる。 ・地域の図書館(施設)は、冊数がさほど多くないと聞きました。市立図書館には遠いので、借りることもないということ。 ・十分ではないが、図書の冊数も増え整理つつあるように思う。 ・学校の図書の蔵書が古かったり、冊数が少ない。 ・図書室だけでなく、教室も充実できたらよい。

小学校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

BM 巡回	問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》
有	<p>×</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館が自力で行ける範囲内がないので、個々の興味や関心に対し、タイムリーに適切な本を手にすることができない。 ・図書館司書の先生がいただけると嬉しいです。でも、大分県の中では、素晴らしい読書環境だと思います。 ・学校に図書館はあるが、司書がない。担任が図書担当を兼ねているので十分な環境整備に至らないことが多い。 ・毎朝、15分間、好きな本の読書タイムがありますが、子どもの好きな本を読むので、本の種類に偏り(図鑑など)があるように思えます。読書という意味と少し違う? んじゃないかと…? ・家庭で親が本を読まない。家に本が少ない。学校図書館も、もっと蔵書の充実を。 ・家庭の取り組み。 ・身近に新しい本が少ない。 ・図書館や学校では、本がいっぱいあり、充実はしてきていると思いますが、家庭での状況が気になっています。(読み聞かせ、や、借りることをしていないのでは…と思います。) ・宇佐市の規模の市町村では、図書館は充実しているが、学校図書館の充実が不十分であるので、学校図書館の充実を図ることが重要である。図書館と学校とが、もっと連携して取り組むことで、子どもの読書意欲を高めていく必要がある。 ・学校で、「ゆっくり図書館(室)で読書できる」時間がない。 ・読書環境を整える心の余裕がない。(言いわけかもしれない) ・学校図書館は充実してきているし、院内の図書館も司書さんの配置により良くなってはきているが、家庭での読み聞かせ等はまだまだ不十分だと思う。 ・家庭でゆっくり読書をする環境が作りにくい。休日に図書館へ足を運ぶこともない。 ・新刊を含めて、子どもたちの読みたいジャンルの本の入れ替えが必要。 ・本はたくさん増えたが、もうすこしイベントやお知らせがほしい。 ・図書館が遠い。 ・学級文庫には本がない。家庭ではマンガは買うが、親にも本を買う意識がない。 ・図書室に、もっと新しい本がたくさんほしい。 また、大きな図書館が近くにない。(それで院内の図書館はありがたい)。 ・古い本が多く、新しい本をよもうとするので、本がたりない。(学校の中) 家では、TVやゲームなどが多く、よもうという意欲がへる。 ・本校は、児童数からすると蔵書が多くてよい。しかし、調べ学習の時には、同じ本は、そう何冊も購入できないので図書館の本を利用したいと思う。そのために、団体貸出などをしてほしいと思うが、なかなか本の入れ替えなど手続きできていないのが現状である。 ・図書室がないので、静かな中で集中して読めない。
無	<p>×</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい本が少ない。 ・大人は読書ブームも到来し、幼児の絵本も充実しているが、小学校高学年が魅力を感じて読めるような児童書がまだまだ少ないと思います。 ・本の量が不足。 ・学校に本が少ない。 ・なかなか、家庭では十分に本に接しない。最近朝読書の流行で以前よりはいい環境になっている。 ・学校図書室の本が不足している。 ・学校に専任の司書さんがいないので。

小学校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

BM 巡回	問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》
無	<p>×</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に限って言えば、やはり本の冊数が十分でないように感じる。また、図書室がやや狭い。 ・新しい本が少ない。 ・学校の図書室がせまく、暗い感じがする。学校の児童数からすると、本がすくないように感じます。 ・学校の蔵書数の不足。(老朽化、劣化した本が多い) 家庭内外でメディアの広がりによって、本でじっくり調べたり、読み味わうことが減っている。 ・冊数不足 ・図書館(校内)の蔵書が十分でない。 ・本の種類(学校図書館の)が十分でない。1人ひとりの実態に応じた本選びができていない。 ・本が少ない。 ・子どもの数をくらべると本の冊数が少ないように感じる。 ・学校では、朝読書の時間があるが、家庭では十分な時間がとれていない。 ・自分で読みたい本を見つけられる子が少ない。 新刊にふれさせてあげたい。 どのような本がおもしろいか紹介する機会が少ない。(司書の活用) ・テレビやゲームをする時間が長すぎるので読書する時間がない。 ・図書室の本が古く、子供達の読みたい本が少ない気がする。 ・子どもたちは、新しい本を読みたがります。新しい本の冊数が不十分だと思います。 ・学校図書館の蔵書の充実と利用しやすい整備が不十分。 ・新しい蔵書が少ない。 ・図書室の本は、古くて子どもが読みたいと思うような状態ではないかと思う。 ・表紙などがはがれていたり、するから! ・蔵書数が少ない。 ・学校の図書室の本が少ない。 ・図書館司書がいない。司書教諭はいるが担任なので、専任するわけにはいかない。 ・読む本にかたよりがあつたり、種類によってはあまり十分でないものもある。 ・子どもの周囲、家庭に本がない。 図書館へ連れて行くようなことがない。 ・学校の本が少ない。 ・校内でブックトークなど読書の楽しさを伝えられるようにする指導を積極的に行っていると切り切れない。 ・蔵書冊数・分野とも不足。。本が古い。 ・本校は市民図書館から遠い為に、行ったことのない児童が多いです。 ・テレビやゲームなど情報社会の中で読書の楽しみを浸透させることは難しいから。 ・古い本が多いこと。 ・図書室に専門の司書がいないため機能的な図書室になっていないためあじさい読書やどんぐり読書の提起を していて全校によびかけているが、今一つ読書意欲を喚起できていない。 ・学校は教諭が司書の仕事も一緒にしている。図書の整理や環境をととのえるのは無理がある。 ・新書を購入するための予算が限られている。結果、学校図書館には古い本が数多く並んでいる。 ・子どもたちが読みたいと思う意欲をもたせるための工夫が必要。(本を開くまでの道すじを示すものが) ・子どもたちが興味関心を持っていることに関する本をすぐに提供できていない。 ・学校の蔵書数が十分ではない。 市民図書館の予算が年々削られ、新書が入りにくくなっている。

小学校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

BM 巡回	問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》	
無	×	<ul style="list-style-type: none"> ・図書費が少なく、図書室の本がかなり古い。朝読書を行っているが、授業で読書指導等行う時間がとれていない。 ・学校では、図書館の使い方の改善。家庭に本がない。(買わない。借りない。) ・読みたい時、調べたい時にその本が校内にないことが多い。 ・家庭での読書量が不足。親子で共に読書に取り組むゆとりが確保できていないことや親自身の読書離れが懸念される。 ・学校図書の充実、図書室の環境整備など。 ・まだ改善できることがいっぱいあると思うから。 ・時間が少なかったり、興味をもたせる本(学校の蔵書分で)が少ない。 ・学校図書が充実が望まれる。 ・本の冊数や新しい本がもっとあるとよい。 ・冊数が少ない。 ・子どもの関心に対応しきれていない。 ・学校の図書室の本については、古く、できる限り購入していけるとよい。 ・色々なジャンルの本がもっとあるとよい。 ・校内図書館について 施設面 オープンスペースのため、静かに読める環境でなく、冬は寒い。 蔵書数が少ない。古い本、痛んだ本も多い。本の整理がなかなかできない。 ・本の整理がされていない。 ・学校、図書館等環境はずい分整ってきていますが、家庭で自発的に読書をする習慣はかなり差があります。
有	なし	・十分かどうか、よくわかりません。
	なし	・学校では読書の時間が持っているが、家庭では、後回しになってしまう。
	なし	・各学校に司書が欲しいです。
	なし	・本の登録など全くできておらず、これからです。

小学校の先生

BM巡回	問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
有	<ul style="list-style-type: none"> ・大人からのほたらきかけ ・学校図書館の充実 ・司書教諭の専任配置を早く実現して欲しい。 ・静かな環境をつくること(よめるかんきょう) ・朝読書の充実と、発展学習(自学)につなげていきたい。 ・種類や量、読むための環境が不十分→左記を工夫するとよい ・いつでも読めるように身近に本がたくさんある。おもしろい、楽しい本に出会う経験をする。 家庭での読書環境も大切だと思う。 ・自分の興味あることの本を用意する。 ・本棚とその場所に余裕があればもっと利用しやすい。ほんの森号は大好きです。 ・家庭でテレビゲーム等の時間を減らし、読書の時間をつくる。 ・ブックトーク 新しい本の購入。 ・ゆったりとした時間の中で本を開く。 ・家庭での読書の習慣ができるとよいと思います。 ・学校での読書の時間を作る、家庭で、親が子供に読み聞かせをする等で本に興味を持たせる。 ・子どもに本をたくさん読ませたい!!とは思いますが、なかなか読まないのが現状です。 ・よい本の紹介、学校や家庭での読書時間を増やす環境作りをするべきである。 ・読書の時間を十分とる。ブックトークを入れる。 ・子どもが興味を持つ本の紹介やクイズ等。 ・ケータイ、PC、ゲームの排除。そして静かな時間の確保。 ・ゆったりと過ごす時間をつくる。よみきかせする。 ・本を読む大切さを教え習慣をつけたら良いと思います。 ・本校では隔週で“読み聞かせ”をさせていただいており、読書の場は多い。しかし、家庭での親子読書など生活の中に“本”があるという環境を意識してつくっていかなければ、学校だけの取り組みでは限界があると感じている。(学校では読むが家では読まない) ・読書タイムの活用で、かなり本を読むようになっていっていると思います。 ・楽しい本の紹介を読み聞かせなどで行う。 ・学校で、ゆとりをつくり、時間を確保する。保護者の意識、家での環境づくり。 ・家庭での保護者の読み聞かせや、学校での読み聞かせの活動を、通して子どもに興味関心を引きだす。 ・読みきかせや、身近な所に本をかざる。 ・身近に本をさわられて、いつでも読める環境にある。 ・本に興味を持つ催しや、映画等と関連づけて紹介する。(根本的には家庭教育の力が大きいと思う) ・幼児期から、読み聞かせなどで、本に親しませる。 子どもの興味を刺激するような、本を揃えたり、紹介したりする。 読書、調べ学習の時間を設定して取り組ませる。(学校で家庭で) ・家庭との連携。社会全体の環境。 ・本の冊数を増やす。静かに読める環境づくり。 ・時間の確保。学校でも家庭でも。 ・ゲームやパソコンを規制する。「読む」のも学習の一つととらえて指導する。 ・図書室がほしい。

小学校の先生

BM巡回	問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
有	<ul style="list-style-type: none"> ・本の楽しさがわかるように、家庭を含めた読書環境を充実させる。 ・図書コーナーに子どもの目に止まるような変化をつける。 ・その子の好きな本から読ませ、本に対する興味を持たせる。(出会いがかんじんだと思います) ・子ども達の身近なところに子ども達の読みたい本をおく。市民図書館におく本を決める時に、アンケートを子どもにとる。 ・読書環境の(図書室、図書コーナー等のハード面、本の絶対量等、読む時間や空間等のソフト面)の充実。 ・学校の図書室に蔵書が少ない。学校に司書がない。本の森号の回る回数が少ない。 市民図書館まで遠いと本を借りようと思わない。一以上の理由が整えば、状況は変わると思う。 ・親子で(家庭で)ゆっくり読書する時間をすこしでも持っていきといいのでは…。 ・図書室の雰囲気明るくするなど… ・校内図書室の整備充実。 ・たくさんを紹介をする。 ・今は電子本が主になっている。時代の流れで仕方ないかもしれない。図書館もネットでつながるシステムに移行するしかないかもしれない。しかし、そのことで活字と子どもたちがつながれば、また効果的になるのでは。 ・図書館司書等の人的配置。 ・新刊をどんどん入れていく。興味関心のある本を入れていく。 ・読み聞かせ。子どもとついでに本を読む。 ・現在、宿題として、1日10分の読書を与えると、はじめはしかたないが、楽しんで読むようになる。 ・読書を宿題にして、読書をする習慣をつける。しかし、音読や漢字、算数などの宿題もあって、多くなりすぎて負担になると思って出せないでいる。 ・小さい頃から読み聞かせを自分ほしい。 ・読み聞かせ。ブックトーク。 ・電算化して管理できていない。司書がない。市民図書館との連携。 委員会の児童の子だけでなくつねに人のいる図書室に。明るい図書室に。 ・本にふれあうことのお機をつくる。読書のよさ(楽しさ)。 ・図書館の設備充実(空調、証明、机、いす等)。 ・毎日少しずつでも読ませること継続することが大事。 ・家庭読書の充実。 ・低学年では、定期的な読みきかせブックトーク。 ・最初は読む時間を大人が確保してあげること。 ・ブックトークなどで本の紹介をしておもしろい本を知らせること。 ・手にとりやすい図書の配置と簡単なあらすじを書いたポップのようなものをおく。 ・いごちのいい図書館。 ・読みきかせの回数をふやし、図書室に常勤の指導員がいればよい。 ・読みきかせを小さいとき(就学前)から続ける。 ・読みたい本をすぐ探せる。 ・本はよく読んでいるが、パズルやミツケ的なもの、マンガが多い。読み聞かせや、少しでも文を読む訓練を続けさせる。 ・授業の中で、直接出て来る本だけでなく、内容等関連する本を紹介しては…。

小学校の先生

BM巡回	問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
有	<ul style="list-style-type: none"> ・本の紹介と時間の確保。 ・おもしろい本の紹介。 ・朝読書などを継続的に行う。 ・本の楽しさを味わわせるような機会をつくっていくことが必要だと思う。 ・本を読む時間をきちんととり、読む習慣をつける。 ・校舎の建てかえでよくなると思う。(来年新校舎となる予定) ・図書館司書を各学校に1名つけ、本の紹介等を行う。 ・ある程度の時間を取っての読書は家庭の方が取りやすいと思うので、家庭での取組みも大切だと ・テレビやゲームをしっかりとなくす。 若い親 新生児へのとりくみ。(他の市町村では、保健師さんが家庭訪問をする時、絵本をプレゼントするところもある。 ・本だなに並べておくだけでなく、手にとって紹介する。教科書に出てきた教材に関する本、教師が個人的におすすめする本など。 読んだ本を記録し、自分の読書のふり返りができるようにする。 ・親と一緒に読書をする。図書室や本屋に足をほこぶ。 ・学習指導をへらし、テスト偏向の学力観そのものを変えれば・・・。 ・本を読むための時間(親子で)を30分でもいいので毎日(できれば)確保する。 ・大人自身が読書を楽しんでいる姿をみせること。たくさんの本を身のまわりに置いておくこと。 ・興味のある本が近くにあること。新しい本の紹介など、本の表紙や内容を一覧表などでみせてもらえる と、リクエストもしやすくなり、本にふれる機会も多くなるのでは??と思いました。 ・よみきかせをする。自分が好きな本を紹介して知らせる。とにかく身近に本をおく。一緒に読む。 ・興味をもたせる事、が一番だと思うが、それが高学年になる程難しい。学年に合った本に限らず、何でも良いので自分の読みたいと思う本、たとえば表紙の絵、タイトルでも良い少しでも興味があれば手にとってみて、中を覗いてみと、それをくり返していく、等。 ・新しい図書を毎月入れる。(2、3冊でも・・・) ・教室内に読みたいくなるような本を、十分に置いていないので。→ 左記のことをなくし、すぐ側にいつでも読めるようにそろえてあげる必要がある。団体貸出など利用して、今後かりたい。 ・読み聞かせ、紙しばいなどで楽しい本を紹介する。時間、心に余裕を持たせる。 ・読書環境の充実。家庭も、学校も。図書館の利用時間の延長。 ・図書室へ行きたくなるような環境づくり。 ・静かで落ちついた空間が必要。一緒に読む、読みきかせ、など。 ・古い本を図書室からなくす。司書教諭を配置して、図書室の環境を整える。 ・環境整備し、新刊を備える。 ・学校に新しい本を多く購入できるようにする。 ・読みきかせ、本の紹介、読書活動の発表など。 ・本の紹介。 ・読みきかせ。 ・蔵書量を増やす。時間の確保。 ・作者について、興味を持つことのできる工夫。 ・子どもたちの興味、関心のあるジャンルの話の本を用意しておく、読むようになると思います。また、読みもの(シリーズ)のおもしろい話の紹介等があればよいと思います。

小学校の先生

BM巡回	問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
有	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で、一緒に読書の時間をもつなど。 ・本の内容魅力を伝えること。 ・まわりの大人など本を読むようなことをモデルとしてしめすことができていない。←このような環境も大事だと思うが、いろいろ刺激的なものが多いのでむずかしいことだと思います。 ・興味、関心に沿った図書の紹介。子どもから子どもへ読書への広がりをつくる。 ・読書の楽しさが伝えられるようなブックトークや読みたくなるような本の紹介の場を持って興味を持ってもらえるとういのですが…。 ・図書の充実(子どもたちにとって興味、関心のある図書を増やす)。 環境(子どもたちが本にふれたいくなるような環境作り)。 ・小さなころからたくさん本にふれる環境作り。 ・手元に本がある。読み聞かせをして、本のおもしろさを、体験させる。 ・興味があるものに関連する本、タイトルや絵で関心をもった本をまずは読んでいく。 ・日常的に、よみきかせ、ブックトーク(かんたんな本の紹介等も含めて)、学習の中で利用することなどを行ったり、読書環境を整えたりすることができたらよいと思います。本や図書館に詳しい大人が、いつも図書館の環境を整えたり子どもたちや教師や保護者の相談にのったりできることも大切だと思います。 ・移動図書館のおかげで、喜んで借りています。今月のおすすめ本とか新刊の紹介など具体的に本を見せて下さると、いいかも…。 ・アニメーションなど本にきょうみを持つ活動。 ・まわりの大人たちが子どもに物語やお話をいっぱいして、空想を広めることだと思う。 ・読むことの楽しさ、おもしろさを紹介する。 ・「本」に親しむ環境をととのえるのも大切だが、図書館に行ってみようと思う企画をたててみてはどうでしょうか。 ・本に興味を持たせる。 ・大人(家族や教師)がまず読書する姿を自然にみせたり、読み聞かせをしたり、図書館に行ったりする。 ・学校での時間確保は、今、目一杯。家庭との協力、強調が必要。 ・短時間でも読書の時間を確保し、家族や学校全員で読書に取り組む。子どもの身近に、いつも本が置けるようにする。 ・読書クイズや図書委員の活動を活発にする。 ・図書室や図書館が子供達にとって楽しめる場所であらぐ空間であれば子供達も集まり次第に本を読む様になるのでは、と思います。 ・ブックトーク等で、いろんな本の楽しさおもしろさを知らせることで興味やきっかけをもつことにつながると思う。 ・学校司書がいて、本の最新情報を子どもたちにどんどん伝えればよいと思います。 ・ゆっくり読める時間の確保。 ・読んでみたいと思う本が身近にあるとよいと思う。 ・読みたくなるような環境づくりと、興味を引くような読み聞かせだと思います。 ・学校、家庭でもっと読書指導が必要。 ・移動図書館は、とても有難いです。もっと回数が増えたいと思います。 ・マンガはタブーという雰囲気があるけれど、文字を追うことにはわりはないと思います。楽しめる読み物を取り入れるとよいと思います。 ・生徒は皆現在競争して本を読むようにしている。

小学校の先生

BM巡回	問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
有	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の時間の確保と良い本の紹介。 ・読書の楽しさやおもしろさを実感できるように本を選び、取り組む手立てをする。読書カードの作成や感想の発表の場を設けるなど。 ・移動図書館の制度は大変よい。もう少し、回数が多いと更に利用しやすいと思う。 ・移動図書館車が連続で来る日があるといいなと思います。 ・全員(学級)で読書する時間の確保。 ・本を紹介、面白さなどをアランダムに知らせる。本を身近な存在にすること。 ・読み始めれば、おもしろいと感じる子どもも多いので、ゆっくり読める「ゆとり」があればよいと思う。 (現状では、そういうゆとりは、ほとんどない) ・現在、週1回で、先生方が交代で、朝15分、読み聞かせをしています。私は低学年の方しかわかりませんが、子どもたちが興味をもつように、また読んでみたいと思うような、本を紹介したり、読んでもらって、本って面白いなと思えるように、取組みをしていければと思います。 ・本の楽しさを知らせる。読み聞かせや、読書の時間を、もっと増やす。 ・読み聞かせ等。 ・親の読み聞かせ。 ・(地道に)読んで聞かせること。 ・子どもが小さい頃から、本にふれる環境(学校や家)をつくってあげることと、大人が、本を読む環境に居なくては・・・子どもまで本好きにはならないのでは・・・と思います。読み聞かせをしてあげるといいかも・・・と思います。大人自体が図書館に寄らないのではないのでしょうか？ ・読みきかせ等。 ・ブックトークやシリーズものを読み聞かせで紹介し興味をもたせる。図書館(室)に大人も行ってすごす。 ・家庭での読書時間を確保する。⇒ TVを消す。静かな時間をつくる。 ・週に数回読み聞かせをしたい。 ・読み聞かせやブックトークを充実させ、本のすばらしさを知らせる。(素敵なお本との出会い) ・読み聞かせ、本の紹介(互いに)。図書コーナーへ連れていく(本を探すことに慣れる)。 調べ学習を低学年のころから取り入れる。 ・ゆっくりと一緒に読んであげたり、読める時間の確保、ゆとり。 ・図書室や図書館がいろんなイベントをする。 ・毎日、読書する時間をつくる。 ・より手軽に子どもたちが興味・関心を示す図書が借りれるとよい。 ・家庭が基本だが、学校でも時間がほしい。実際には低学年以外は不可能。多忙。 ・どこにどんな本があるのか、分類・整理。家庭では、親もいっしょによむ。 ・たくさんの本に出会わせる。 ・時間の確保。読み聞かせやブックトークなどとおして、本の紹介をし、続きを読みたいという気持ちに導く。家庭への読書のすすめ。 ・親が、いっしょに読書をする。 ・家庭での読み聞かせ。親が読書している姿をみせる。家庭での本を読む時間の設定、環境。 ・カーペットやイス、読む場所の環境整備をもっとやれば(今が座っていると床が痛いので・・・)いいと思う。
無	<ul style="list-style-type: none"> ・書く人が、いい本を書き、出版社はいい本を出し、子にかかわるおとなが、いい本を知り、きっかけをつくる。 ・児童書のよりいっそうの充実。

小学校の先生

BM巡回	問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
無	<ul style="list-style-type: none"> ・環境、時間の保証。 ・人気マンガやアニメを題材にした本から読ませ、文字を読む事に慣れさせる。 ・読書環境の充実(シリーズ本をそろえる)。 ・楽しい本の紹介。 ・空間(本のある)と時間を充分にもつこと。 ・時間の保しようにしてあげる。 ・小さいこらからの読み聞かせをする。 ・明るく開放的な図書室をこれからも継続させていくこと。(本を読みに行くのが好き。気軽に借りにいける。)魅力的な本をそろえる。 ・定期的に本を入れかえ新しい本が読める環境をつくる。 ・各種メディアによる膨大な情報に囲まれている時代ですが、そんなものにはない魅力が本にはあると思うので、良書を普及する努力を図書館は今後も頑張っていたきたい。 ・玖珠町の例のように、宇佐も図書にまつわるイベントなど、プロジェクトチームを組んで起ち(一 立ち?)上げるなどのことをやってはどうか。 ・環境整備 ・おすすめの本の紹介。 ・読書環境の改善。読書時間の確保。 ・教科書にのっている本など子ども達が身近に感じられるような本を用意できたらいいな、と思います。 ・日常的な読み聞かせなど、手の届くところに本を置く。 ・いつでも手が届くところ、目につくところに本があること。また、私たち教師が積極的に本の紹介や読み聞かせを行うことで、読むことにつながるのではないかと思います。 ・家庭への呼びかけ、親子で読書にとりくむ。 ・読書時間の確保。 ・ゴロ寝でも読めるベンチがあるなど、本嫌いの子に向けたハード面のリラックス化。 ・テレビやゲームの時間をコントロールする。 ・読み聞かせ、や、感想発表などを通じて本のおもしろさを知る。 ・学校からも、図書館に行ったりして、本にふれるチャンスを多くもたせる。 ・いろいろな本を紹介し、興味をもたせる。 ・家庭と連携した読書習慣づくり。 ・読書の時間を設定する。 ・もっと図書館かんきょうの充実にかける時間が職員にもほしい。〇〇コーナー、おすすめ本など。また掲示や取り組みなどにも。 ・新しい蔵書を早く入れて図書館環境を整える。 ・本を読みたくなるような環境が整っていないような状況にある。又、大人も忙しくて図書館につれていく時間がないと思う。 ・本を読む時間をきちんと確保していけば、自然と本を読むくせがついてくると思う。 ・よみきかせ! ・最新の本を入れる。リサーチをする。図書館に連れていく。 ・子どもの興味のある本や、学習に役立つ本などをふやす。 ・整備。

小学校の先生

BM巡回	問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
無	<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろい！と思える本に出会えるとよいと。 ・団体貸し出しで、学級に30冊ほど、学期ごとに(配達して)貸し出して欲しい。中津では実施。 ・読み聞かせ。 ・一校に一人専属の学校司書がいてほしい。 ・本の世界のすばらしさを大人から積極的に伝える等の取り組み。 ・教師が読書好きになること。親もいっしょに読むこと。 ・長洲公民館に、移動図書館が来て下さいますが、時間的、地理的に利用しにくいです。ぜひ、学校に来て下さると低学年の子供も利用できると思います。 ・読書の楽しさを子どもたちに可能な限り伝えていくことしかないかな～。 ・まずは、新しい(きれいな)こと。 ・5、6年生にも読書の時間を教育課程に位置づけると、高学年ももっと本を読むようになると思う。 ・子どもが「手に取ってみようかな！」と思えるような新しい本を数多く導入すること！ ・学校図書館にも人的環境が整えられることが大切だと思う。 ・学校で購入する本は、子どもたちが選べる。 ・本を読める環境をまず作ることが大切。 学校での朝読書や家庭での親子読書など、周りが本を読んでいたりと、本に興味を持ったりしていることが大切。 ・家庭で小さい時から読み聞かせを行ったり、一緒に本を読んだり親が子どもに関わるのが大事。 学校でいろいろと関わっても限度がある。 ・まずは、読みきかせで興味を持たせ、本を好きにならせる。 ・幼い頃から親の読み聞かせ等で本に親しませることで、活字を目にすることが苦にならなくなると習慣化につながると思う。学校も同様で、折に触れて読書に親しませる必要があると思われる。 ・学校図書室の充実。(本や司書さん) ・環境整備。本の紹介。読みきかせなど。 ・本好きな子ども本嫌いな子ども、様々なので、むずかしいと思うが、いろんなジャンルの本を紹介して興味をもってもらいたいと思います。 ・もっと子どもに色々な本を手取るようにしたい。 ・本に囲まれる環境作りと時間の余裕。 ・親子で本を読んだり、図書館などをもっと活用するとよいと思う。 ・読む環境を作る。 ・大人がもっと一緒に読む時間を作ること。 ・興味関心のある本の紹介。 ・小さい頃からの読み聞かせ。読書環境を整えること。 ・読みきかせをする。 ・幼少期からの読みきかせ等を通して本に親しませることや、学校での朝読書等の時間の確保から、本好きの子どもが何人か育っていくと思う。 ・本をよむことを、小さい頃から習慣づけることが大切だと思います。また、身近な大人が、本をよむ姿をみせることも、大切。 学習の中で、「本で調べる」「学んだことをさらに深めるために本をよむ」ことも必要だと思います。 ・私たちができるのは、授業に関連する図書の紹介、調べ学習で使える本を子どもたちに見せることですが、市民図書館にどんな本があるのかがわかれば助かります。

小学校の先生

BM巡回	問9: どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
無	<ul style="list-style-type: none"> ・小さいうちから、読み聞かせをたくさんする。 ・楽しい本に出会う機会を作ってあげればいいのでしょうか。いい方法があれば、知りたいです。 ・時間の確保やおもしろい本の紹介。 ・どんな本があるのか、どの本がおすすめなのかが分かると良いと思う。 ・ビデオなどを視聴させるのも一法か？ ・子どもが望む(興味関心に応じた)、少しレベル高めの本をたくさん身近にそろえること。 ・毎年ブックトークを行っていくと興味がわくと思います。 ・子どもたちに読みたい本、図書館に入れてほしい本などのアンケートを取るなどして、子どもの要求を取り入れる。(もしかして、もうやっているのかも..) ・どんな本がどこにあるか等、本がわかりやすく整理、配備されていること。 ・静かに読める環境づくり。 ・図書室の環境をかえるとよいと思う。 ・親がもっとゲーム、TVより読書の大切さを認識し、親自身も本を読むようになれば家庭の読書環境も整っていくと思います。

中学校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》	
○	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館もあり、教室にも本を置いているから。 ・我々の時代にくらべると学校図書館、市民図書館、古本屋等が沢山あり、十分すぎる読書環境だと思われる。 ・学校にも何千冊という本があります。環境は良いと思います。 ・学校での読書環境が整っているから。 ・本校は今年の図書費が多く、生徒のリクエストに応じた本を学級文庫として相当数揃えてくれているから。 ・学級にも入れてくれるようになったから。 ・学校図書館の数、市民図書館の存在、明屋等書店等、10年前、20年前に比べると改善されている。 ・環境は自分でつくるもの。 ・本校の図書室は十分だと思う。 ・図書館の本の充実。 ・近くに図書館があるから。 ・各学校に図書室が整備されており環境としては十分だと思う。 ・読む意欲を出すためにはどうすべきかが大切では…。 ・学校の図書室が充実している。 ・図書館があるから。 ・ある程度、整備されていると思うが、利用する側の意識に訴えることが(利用促進)十分できているかは、疑問。 ・図書室の本の充実。読書時間の確保がされているから。 ・冷暖房、コンピューターを設置している。冊数も充足されている。
×	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書が少ない。 ・本が少ない(学校に)。 ・インターネットやテレビなどを利用するため本離れの子どもたちがいる。 ・やっと最近図書館や学級に本を増やしているがまだまだ不足していると思う。 ・学校に司書教諭がいない。 ・学校図書館の図書がまだまだ十分にそろっていない。 ・生活の身近に本が少ない。 ・家庭では、TVとゲーム、ケイタイ等そちらの環境の方が強い。又、学校は図書の蔵書が少なすぎる。 ・パソコンや携帯、テレビなど読書以外に子どもの興味をひくものが家庭の中にあるから。 ・学校生活、家庭生活の中で読書時間が十分保障されていない。 ・学校の図書館専任の職員がいないので、貸し出し等に課題がある。 ・朝読書だけだと読書する機会が少ないと思う。 ・読書の時間を作っても実際に読書をしている生徒は少ない。 ・学校図書館に司書や司書教諭がおらず、いても十分に機能できる状況にはない。予算も少なく、古い本が書棚に並んでいるのが現状である。 ・ものごとを知らなさすぎる。考える力がない。 ・常勤の図書館司書の常駐がないから。 ・家庭ではマンガ本以外読まないし、学校図書館の利用も殆どない。 ・家庭での読書が不足している。 ・子どもたちが忙しすぎてじっくり本を読む時間がないように思える。 ・時間は十分確保できているが、プロの手によるハード面の環境整備なり指導なりが学校図書館に入るとよいと思う。 ・学校図書館をもっと充実していったら触れる機会が多くなってよいと思う。

中学校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》	
×	<ul style="list-style-type: none"> ・時間の確保が難しいのでは、と思います。 ・図書室の蔵書数がまだ不十分。 ・古い本が多い。 ・蔵書の数や種類(ジャンルも含めて)等不足している。 ・図書館の充実。 ・テレビやゲームなど、他の事に興味がある。又、勉強や部活が忙しくて時間が持てない。 ・学校で朝読書があるが、家ではどうだろうか。 ・テレビやゲームなどの興味が強く、本を手にとりにくい。 ・図書館が遠い。本の充実。 ・理由をききより学校へ来て図書かんを見れば。 ・学校の蔵書が少なく本棚等の設備も不十分。 ・その他の環境が発達しすぎてかえって本離れがすすんでいるのではないか? ・図書室が定期的に開放されていないので。 ・図書の貸出システムが確立されていないので借りにくい。管理しにくい。 ・本に接する機会がなかなかない。 ・場所と予算がないため棚が設置できず置き場所もない。(学校図書館) ・学校図書館に司書がないので、常時、図書館が開放できないので読書環境が十分でない。 ・校内の図書室を十分に活用できていないから。 ・蔵書が少ない(図書室)。 ・学校司書がないので、図書館の整備が十分に出来ていない。 ・蔵書数が少ない。空調設備がついてない。 ・大きな図書館が近くにない。読みたい本がすぐに手に入らない。 ・本校は3階に図書館があり、3年生の教室もあり1年生からすると行きづらいのではないかとと思われるので。 ・本校だけかもしれませんが図書スペースがオープンスペースのため静かに読書ができる環境整備も必要。 ・落ちついて読む時間が少ない気がする。 ・読むことに個人差があり、朝読書の時間でも、読めない生徒が多い。 ・本の数が少ない。 ・学校の蔵書数が少ない。図書館が遠い。(読みたい本を探して入手する手間がかかる) ・状況が自分自身わかっていないので「いいえ」としました。 ・本の質がよくない。近くに本屋がない。近くに大きな図書館がない。 ・司書教諭がいるとよい。 ・TVやゲーム、インターネット等で情報が散乱している。一番身近な学校で、司書がないなど機能が不十分。 ①読書する習慣ができていない。 ②読書する環境ができていない(他のことが多忙)。部活、塾、ゲーム、テレビ、など。 ・毎日の朝読書の時間を確保していますが、読む本の質までは指導できていないので。
十分だと 十分でない の間	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の蔵書は他の学校に比べるとそろっているとは感じますがまだまだいろいろな本の種類をそろえられたらと思います。
なし	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりません。条件によって違うと思います。
なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の図書費では十分に本が買えない。

中学校の先生

問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
・生徒の好きな本を増やす。
・学校だけでなく家庭での指導等。
・本の「おもしろさ」「意義深さ」等を感じさせること。
親子で読書をする。
・おもしろい本の宣伝や紹介なども含め、本のおもしろさに気づかせる。
・絵本をよんであげたり小さい頃からの意識づけと、発達段階やその子どもの趣味や、性格に合った本を探してあげる親、大人の努力も不可欠だと思う。
・親の姿勢、家庭環境(小さい時からの…)
・母親、父親が、子どもが小さい時から本を読んで聞かせる。
・子どもが興味を持つような本を紹介する など。
・できるだけ身近なところに多くの本をそなえいつでも手に取れる環境を作ること。
・親の世代への啓発活動等、社会に対するアクション。
・朝読書などを実施し、本に触れさせる。
・子どもたちが読みたいと思う本をまずは十分に準備し、身近な所に揃えとよいと思います。
・静かに集中できる環境を大人がつくること。本の紹介(推せん)をしていくこと。
・幼児期の本との関わり。
・図書を身近に。
・生徒達が本当に興味を持つものについて知る。
・自分が読んでおもしろかった本など、紹介していく。内容をある程度で説明し、興味を持ってもらう。
・幼児期から読み聞かせ等にふれたりすることが一番。
・読みきかせやブックトークの機会を増やすこと。保護者に読書の重要性をアピールすることなど。
学校図書館の設備や人的配置、資料の購入、予算の増額等…。
・読み機会をたくさんつくってあげればと思います。
・家庭や学校などで読み聞かせなどをして興味を持たせる。
・常勤の図書館司書の常駐がないから。→ 常駐をぜひ推進を。
・小さなころからの読み聞かせ、本の紹介(新刊等)。
・TV、携帯からはなす。
・読書をする環境(時間、雰囲気など)を作ることが必要だと思う。また読みたい本がすぐに見える状況や借りれる状況になるとよいのではと思います。
学校内で読書の時間を設定することは大変よいことだと思います。
・楽しい、感動する本に出会うこと！！
・朝読書の継続など。
・生徒が希望する新刊が少ない。
・小さい時から本に親しむ習慣を身につけさせる。
・家庭、校内での読書習慣。
・幼児期からの読書習慣。朝読書のとりくみ。
・読書をする時間を与え、習慣化させていくことから始めていく必要があると思う。
・楽しみ読みならケータイ小説、マンガのノベライズを身近に手に取れるようにすれば読むと思う。
・朝読書などで習慣をつくる。(現在取り組んでいてとてもよいと思うから。)
・学校図書室の活性化。朝読書などの時間の確保。
Q 移動図書館は中学には来ないのですか？

中学校の先生

問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
・読書する時間をもっと確保すべき！
・新しい本を多く入れる。読書環境ハード面を整備する。
・家庭で本を読む環境がある。子どもの時の読みきかせ。家に本がある
・図書館内の本の紹介。
・まずは図書館に足を運びやすくなる仕組みが要るのでは？
○子どもたちのニーズに合致した選書、インターネット利用可、など、様々なサービス。
※サービス内容を知らせる。
・本の紹介。感受性を育てる。
・読みきかせ。幼児期から本を読む習慣をつけておく。
・図書館の人が、外に出て、読書の楽しさを伝えていったり、図書館の開館時間を長くして、もっと行きやすくする。
・さらなる図書館の充実。
・学校における、朝読書推進。
・親が本を読むように。読書デー等の呼びかけ(設定)。
・本の量と指導にある。
・幼児期のうちに本との関わりを多く持つ。
・本の内容がわかりやすく見ることができる工夫。
・朝読書でかなりの生徒が、読書の習慣が身についているように感じます。
・図書室だよりなどでおすすめの本などを知らせる。
・図書室環境の充実、整備。
・図書室の利用。
・本の紹介。
・学校への広報活動の拡大。
・本を読む楽しさを幼児の頃から体験させることが大切。家庭でも保護者も含めて読書の習慣がないので。
・面白そうな図書を定期的に紹介する機会を設ける。
・図書室の有効利用。(貸出時間が)
・学校司書の採用。学校図書館の整備。
・本を読む事の大切さを機会があるごとに呼びかける。
・わかりません。興味のある内容にしか手は伸びないでしょうし・・・。
・家庭でテレビを見る時間を減らすことによって本に接する機会が増えると思う。
・新刊本の紹介。生徒が興味を持てる本を揃える。
・本の楽しさを伝える取りくみをおねがいます。
・大人が本を読み、本を読むことは大切だということを、大人の実践でみせることが大切だと思います。
・小さい頃から家庭で読書の習慣をつける。
・司書もいないので、担当だけでは難しいが、本についてのお知らせを掲示する。
・朝読書等の推進。
・自分が本を色々読む。
・本のおもしろさを伝える。出会わせる。
・図書館の本の増冊。
・学校にも司書さんの配置が必要。

中学校の先生

問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
・図書の魅力をアピールする活動を増やす。(学校も市民図書館も)
・読書する時間の余裕を持たないと難しい。(中学生は学習、部活で・・・)
・読書への意欲、意識他。
・本とふれ合う機会を多くもつことだとは思いますが、どのような方法があるのかはわかりません。
・朝の時間を読書の時と決めています。やはり余裕がないと読む気がおきないですね。しかし、今の学校では生徒もいそがしすぎてその余裕はないかもしれません。あとは生徒の気持ちですね。
・学級図書(文庫)を設置して文学作品に親しめる雰囲気をつくる。
・本の紹介。
・保ご者が、本を読むと子どもも読む。
・幼児期より読書する環境をつくる。読みきかせ、よい本を与えるなど読書が好きになるように。
・学校での読書紹介や、図書館の充実。

高校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》	
○	<ul style="list-style-type: none"> ・読まないだけで、読める環境は十分すぎる程ある。 ・読もうと思えばいくらでも読める環境だと思います。 ・図書館など本にふれる機会の設備はよく整っていると思う。 ・図書館の本が充実している。 ・学校の図書室そして図書館を利用すれば、どんな本でも読めるから。 ・市民図書館ができて、利用しやすいから。 ・インターネットもあり、昔にくらべ本が手に入りやすい。 ・学校、市内に図書館がある。 ・毎日の朝読書。 ・寮生活で部屋にテレビがなく、本を読む機会が多い。又、貸し借りが容易。 ・本を買うにはお金がかかるが借りることもできるので。 ・市、学校、移動と図書を借りて読もうとすればすぐにできる環境にあると思う。 ・図書館の充実、大手古本屋の進出など環境は20~30年前より大いに整っている。
×	<ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校に図書館司書を置いていない。蔵書が少ない。宇佐市民図書館行く手段がない。 ・課題(宿題)が多くて多分読む暇がないと思う。 ・時間がない。 ・わくわくするような本屋がない。 ・読む習慣のないこどもたちにとって、時間の制約が厳しい。(読むのに十分な時間がない) ・図書館や書店で手に取ることが出来る本が少ない。 日々の授業や課題への取り組みに多くの時間をとられるため。余裕がない。 ・小・中の図書館に司書がない。 ・良質な資料の良質な案内がとても少ない一方他の情報の絶対量が多い。 ・活字離れが進む中、取って読書の時間を作らなければ読まない子どもが増えているが、勉強や部活等でなかなか時間がとりにくいため。 ・活字文化が、消費文化に対し劣勢だから。 ・受験勉強で読書をする心のゆとりがないと思う。 ・時間がない。興味をもたない。 ・「本を読む」という時間がどんどんなくなっている様に思う。(携帯に依存して) ・活字ばなれによる、読書が習慣化できていない。 ・読むこども読まないこどもの二極化が激しい。 ・読ませたい本が充分でない。予算の関係。 ・娯楽が多すぎる。学習に追われ、余裕がない。 ・読む機会が十分にない。 ・本をゆっくり楽しむ場所や時間の確保の問題。(本以外の遊び道具も多いこと&学校に制約される時間が多いこと。) ・本屋が少ない。種類も少ない。情報も少ない。 ・図書館に行く機会が少ない。 ・とにかくケータイ電話をいじっている時間が多い。 ・“紙面で”、“活字そのものに”触れる機会よりも電子媒体でメモ書き程度の文章しか扱わなくなっているのも、他、TV、メディア等に負けている。など。 ・意識づけが必要。

高校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》	
×	<ul style="list-style-type: none"> ・IT機器、メディアの拡大により、在庫は十分すぎるくらいあるのに活用できていない。 ・テレビ等の普及。 ・本を読む習慣がないから。 ・視聴覚図書(DVDなど)の視聴できるなど、青少年の興味にもっとよりそうことも大切。インターネットの準備。 ・本校の蔵書は古く(新刊もあります)、生徒達にとっては魅力的ではないような気がします。 ・学校図書館の充実が必要。 ・十分とは言えないでしょう。機会のあるたびに、本に触れさせるようにしたいものです。授業でも努めたいと考えています。 ・読書を楽しむ大人の姿を見る機会が少ないような気がします。 ・クラスに文庫みたいなものがそろるとよい。 ・読書環境はむしろ「壊されている」と感じる。パソコン、インターネットの普及で、すぐに結論(結果)が現れることに慣れ、じっくり考えたり、迷ったりすることを、マイナス、と捉える風潮が生まれ、読書そのものを、回転の悪い情報としてみることにつながり、手を出さなくなるのでは…。 ・インターネット、テレビ、ゲーム等に時間を使いすぎている。 ・柳ヶ浦高校から図書館が遠く、簡単には行けない。 ・現在はゲーム、ネットなど、他に興味を持ちやすい傾向にあると思う。 ・本よりも、携帯電話の方が手軽で、本を開いて読む週間が少ないと思う。 ・図書スペースが狭い。 ・日々の学習に追われ、読書する時間がとれない。 ・本が少ない。 ・少し時間が短い。 ・携帯電話の普及により、読書をする生徒が減っている。 ・担任が朝のHRに余裕がなく十分に指導ができない。本を持たない生徒が多く、興味のある本がないと言われる。 ・学校図書が少ない。本の絶対数もそうだが、学校の施設の広さ、利用時間等の関係もある。 ・読書する時間が少ない。(社会体育等)
両方	<ul style="list-style-type: none"> ・よく見れば環境は整っているが、意識は高揚していない。
なし	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の図書館の予算が少ないので生徒の希望に十分答えられてはいない。 ・どちらでもない といつか読書に興味のある子どもには、それなりに十分だと思いますが、興味のない子が多すぎる為なんとも言えない。

高校の先生

問9: どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？

- ・子どもたちの読みたい本を極力図書館に置くようにする。
- ・読書感想文を書かせることなく、ただ読むようにする。
- ・①テレビ、ケータイ、ネットを使用禁止にする。
- ②小学校入学前の段階でタプリー読み聞かせの面白さを味わわせる。(それ以降はムリ)
- ・大人が読む姿勢を見せる。
- ・大人が読んでおもしろいことを伝える。
- ・もっと身近に本を置くこと。関心を引くしかけをすること。本を読むメリットをもっと宣伝すること。
- ・読書案内を行う。読書感想文以外でも、本を読んで答えたり文章をまとめたりするような課題を出す。
- ・授業や広報誌を用いて、本を紹介し続けると、ある時に、子ども達は興味を持ち、本を読みたくなると思う。自発性に思刺激を与える取り組みが必要であると思う。
- ・朝読書は、毎日ではなくても良い。週に1~2度、1回に30分くらいできると理想的と思う。
- ・家族や教師自身が本を読むこと=環境の影響力が大きいと思います。
- ・学校では朝読書の時間を設定する。
- ・電子書籍の導入。
- ・大人が、子どもを消費の対象として狙うのをやめる。
- ・家庭で小さい頃から本を読む教育をすることが大事だと思う。親が本を読む姿を子どもに見せることが大切だと思う。親子でいっしょに読書をする習慣など家庭教育が大事だと思う。
- ・特に思いつきません。
- ・漫画でもよいが、文字を読み調べるなどしないと、本どころか活字離れをおこすと思います。
- ・読書会などのイベントを企画。
- ・必要を感じたとき。
- ・子どもの興味、関心を調査し、手ごろに読める図書を購入するように努力する。
- ・環境をいくら整備しても、本人が読む意志が無ければどうしようもない。読む意志を育てるために親を教育する必要がある。1~2歳の絵本の読みきかせがどれだけ大切かを、今から親になる人達に知らせる。
- ・漢字の力をつける。
- ・活字がきらいな子どもが活字に興味をもたせること、声に出して読むことも大切だと思う。
- ・できるだけ小さい時から本に親しませる。本の読みきかせや読書の時間。
- ・幼い頃からの読み聞かせ等で本に親しむこと。
- ・家庭環境の格差(親の教育力、経済力)が大きくなっていることが原因なので、この原因をなくすこと。
- ・朝の読書等、教育活動に位置づけて習慣づける。読書会の開催、セミナー等、読み聞かせ、広報一本の紹介
- ・9の問いに対して、宇佐市がどのようにお考えなのかまずお聞きしたい。
- ・とりあえず好きな本を読んでもという環境の設定。
- 親や教師が子どもに本を読んでいる姿を見せること。
- 学校の先生が、本を紹介したりすること(?)
- メディアが本の問題を多く提供すること。
- ・低年齢層にゲーム機、ケータイ等をもたせない。
- ・幼少の頃から読ませる。
- ・家庭で本を読むように指導する。
- ・図書館へ行くよう声かけや、特に家庭での取り組みは大切だと思います。
- ・読ませる環境作り。
- ・極論ですが、小さな頃から絵本の読みきかせなどをする事によって、図書館や本との距離を近くして いくしかないと思います。
- ・強制的にでも時間を作る。
- ・特になし。
- ・本を読むことが楽しいと思うための経験をなるべく幼い頃にさせること。読み聞かせや読書時間を保育

高校の先生

問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？

園、幼稚園、学校で設けること。

・幼少時からの家庭での取り組みがもっとも大切。親の意識がないと、本を読むこと自体が文化として育たない。

・学校図書館の充実。

・幼少期の読み聞かせ、絵本からの導入をしっかりとやっていくことからまず取り組むとよいと思います。

・字が読めるようにしてあげる。

・小さいころからの読み聞かせ。

・難しい問題です。強制的に図書館に入れるような状況をつくること。図書館調べ学習などの多用。

安心院高校での未来探究科などの調査で図書(インターネット)に接する機会を多くつくる。

未来探究科など一このような課題設定の場をさまざまなシーンでつくっていくこと。

・実際に図書館に向かいのオリエンテーションや、調べ学習での利用など。

本校では校内の掲示や「図書館便り」をはじめ、十分生徒の意識づけができていていると思います。

・時々、本の夢号を見かけるのですが、小学生たちは楽しみにしているように見えます。続けていって下さい。

・保護者を含めた取り組みが必要。

・分かりません。

・基本はやはり「レディネス」だと思います。いつもすぐ手元に本のある生活が不可欠でしょう。むずかしいことですが。

・面白い本はたくさんあるので本を読む時間を作り、本に興味をもたせる。

・小さい頃から本に触れさせる。(大人、親が意識して読みきかせや、自身が読書を楽しむ習慣を持つ)

・簡単な短い読み物から始めさせる。

・幼児期・・・テレビに子守をさせないで、親が子供にたくさんのお話を語りかける。

学生・・・本に書いてあることを経験させる。

都度、都度、体験にからむような本のお話を、家庭では親が、学校では教師が紹介していく。

高学年では、学ぶことの中に、常に本を活かしていく(調べ学習)

・読書感想文等を書き、表彰するなどがあればよいと思います。

・読ませるのでは、興味を持って自ら読むことが大事なのではと思う。

・1日の生活の中で、読書の時間を決めて読書の習慣をつけるようにする。

・本の配達サービスなど。

・学校で読書の時間を徹底する。できれば30分くらい。

・日常の読書週間の定着を図ること。

・定期的に図書館につれて行く(週1回くらい)。しかし、運動部は時間がない。

・読書の力を伝える。本を身近に感じられるような意識づけ。

・私たちが悩んでいる。小さい頃から本になれしたしむことが大切だと思う。

・強制的な読書の時間(学校用)をつくり読書の楽しさを教えて行くしかない。(低学年から始める)

・読書時間を学校で取り入れる事と新刊本を図書室に。

・毎日読む時間を与えること。興味があったり、読書好きなら自然と読むが、興味がない生徒には途中

まで読ませ、その続きが楽しんだり気になると思うので、1冊の本を数日かけて読ませたら自然と読むようになるのではと感じた。

・本を子供たちの身近に置くこと。大人が読み聞かせなどして興味をもたせること。いい本を紹介できる環境をつくること。

・図書環境を整える。

・働きかけるしかないが、どうしてよいかわからない。

・むずかしい。携帯の文字は見ると思うが、なかなか、本を手にとらない。身近に、読みたい読んでみた

いと思う本を設置しなければ、とも思うが・・・。

・小さい頃から文字に親しませる。読み聞かせを親がする。本や新聞などを与える。

・小学生の頃からの習慣づけ。

・強制的に読ませること。図書館の利用方法を理解させ気軽に利用できるよう指導する。

支援学校の先生 ○…十分だ ×…十分ではない

問8:こどもたちの読書環境は十分だと思いますか? 《理由》	
○	<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンも設備され、利用しやすくなったと思う。 ・市の人口比からも、とても充実していると思います。(私自身が他市のものとして…) ・①学校の図書室は十分な蔵書数がないと思う。②市民図書館は本校生には利用しにくい。→交通面等
×	<ul style="list-style-type: none"> ・本の数や図書室の環境作り(子どもが見たいと思うような)など…。 ・学校図書室の本が少ない。 ・本の冊数、新刊がまだまだ。とはいえ、私らの子どものときに比べれば、日々整備されつつありますね。ありがたい。 ・十分でないことはないが、読書の意識を高める取りくみが必要だと思う。 ・学校図書館の整備がきちんとできていない。 ・支援学校なので、子どもが主体的に読書できにくい。(環境や子どもの興味関心) ・本校の場合、図書室の子どもたち向けの冊数が少ない。また3Fにあり、利用しにくい。 ・学校図書館の図書が充実しているとはいえないから。 ・校内の本の数が少ないと思う。 ・市立図書館が学校から遠く、利用する機会があまりない。 ・本校の子どもに適した本があまりそろっていないから。 ・本屋に良書が売られていない。 ・保護者の意識(読書に対する)を高める工夫があまり行われていない。小さい子どもは親と一緒にいくことになるので。 ・それぞれの障害の程度に合った本がそろっていない。 ・ゆっくり本を読む時間と場所を確保できない。 ・書籍に関する予算が不足している。 ・学校の図書館(室)が、不十分…本の数、整理など…。 ・家では本より、テレビやゲームの方が魅力的になっている状況だから。 ・よい本が学校に少ない。図書室の本が少ない。 ・知的障がいの子どもに適した本が少ないから。 ・読みたい本が少ないのと借りられる場所が限られており読みたい時に借りれない。 ・近くにない。図書室も充実してない。 ・学校内の図書室の管理がむずかしい。蔵書が少ないので。 ・読書を楽しむ環境づくりが十分でない。 ・図書室が遠くて、3Fというすぐ気軽に行けないところにある。 ・本の数が少ない。 ・本の価格が比較的高く、読書以外の楽しみが増え、そちらに時間をより多く費やすようになっているから。 ・支援学校では、なかなか環境的に本が充実していない。 ・子どもたちが忙しすぎて、いつ本を読むのだろう…?と、思う時があります。本を読む暇があったら、勉強しなさいと、言われている人をみたことがあります。
どちらも ない	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちの地域の環境によるから。

支援学校の先生

問9:どのようなことをすれば子どもたちが本を読むようになると思いますか？
・日常の中に本をもっと取り入れる。目にふれる耳に聞かせるひん度をあげることが大事だと思います。
・小さい頃から読み聞かせををすること。
・パソコン、テレビがなくなれば・・・。
・学校や家庭など子どもをとりまく周囲の人が本をよんでいる姿をみせること。
・ゆっくりした時間。落ち着いた気分。
・読書する時間をカリキュラムの中に位置づけるとよい。
・情報の交流、交換、図書館とは相容れにくいですが、ベストセラー等話題をふりまいていく!!(貸し出し数、回転率、検索数etc.)
・新しい本が入ってくる。本を読む習慣を身に付ける。本の紹介をする。
・さわって遊べるおもちゃや本のコーナーが図書館内にあると、幼児や障がいのある子も楽しめると思います。
・幼児の頃から本にふれる機会を多く持つ。特に家庭での読み聞かせなど親子でふれあいながら、本にかかわることが大切だと思う。
・教室に読書環境(本棚)をつくる。
・環境をととのえることもですが、自分が子どもに良い本を知ることが大切と考えます。
・興味のある本や勉強の補足になるような本があればきっかけを作るいい機会にはなると思います。
・本にふれる機会を多くもつ。
・学習活動の中に読書を取り入る。テレビゲームの普及で、日常生活で読書をする子が少ないので。
・ゲーム、ネットを未成年に接触させない。(ギャンブルと同じ扱いにする)
・TVの時間を減らすことが大切ではないかと思います。
・興味を引く本をそろえる。
・誰でも気軽にはいれるようにしてほしい。◎車イスでもはいりやすく。◎床にすわれるスペースなど
・読書タイムを設ける。
・学校や地域で、本の面白さや魅力に触れる機会を多く作る←抽象的ですがみません。
・よみきかせ。
・図書館の閉館時刻の工夫。
・読み聞かせを中心とした読書指導や、障がいの程度に応じた本の紹介が定期的実施されるとよい。
・読書にもっと興味を持ってもらう。授業等で図書館を利用する。
・本の種類を増やしてほしいのと移動図書館の日をふやしてほしい。
・けいもう活動。
・蔵書をふやし、えつ覧等のための充分スペースのある図書室が必要。
・「①学校の図書室は充分な蔵書数がないと思う。」についてはその予算増を確保すること。
・「②市民図書館は本校生には利用しにくい。」については方策を考えてみることも必要。
・例えば移動図書館車が学校とうちあわせて日時をきめて学校を訪問する・・・など。
・読書の時間の設定。
・読み聞かせをしてくれる団体の方々を市でもっと援助する。
・楽しい本の読み聞かせ、本の活用法などの講演。
・本に触れる機会をふやす。
・学校では時間的にも限界があり、子どもも多様である。家庭環境、保護者の考えにも左右されると思います。
・表紙のイラストなどの工夫。
・電子書籍。読む専用の時間の確保。
・保護者(家)でも本を読むことで、学校でも親しみを持てるようになると思う。
・字で読むよりも、動画で見た方が早いと思う人が多いので、文章を読ませて、その通りに絵を動かしていったりなどの活動をする、想像力も育てられ、読む楽しみもあるのかな・・・と、感じます。

